



地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
精神医療センター

平成21年度

# 精神医療センター業務年報

---

(芹香病院・せりがや病院)

平成22年10月

# 目 次

## I 概 況

1 基本理念	1
2 沿革	1
3 組織・機構	4
4 職員配置状況	5
5 施設	7
施設配置図	8
6 主な委員会・会議一覧	9
7 主な研修実績	10

## II 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針	11
2 経理の状況	
(1) 病院事業会計決算状況	12
3 業務実績	
(1) 各種指標	13
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	14
(2) 入院患者の状況	16
(3) 救急医療の状況	22
5 業務の状況	
(1) 看護	23
(2) 作業療法	29
(3) デイ・ケア療法	32
(4) 検査業務	36
(5) 地域医療相談室業務	40
(6) 薬剤業務	46
(7) 医療教育	48
(8) 栄養業務	48
(9) 保育業務	51

### Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	53
2	経理の状況	
(1)	病院事業会計決算状況	53
3	業務実績	
(1)	各種指標	54
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	55
(2)	入退院患者の状況	58
5	業務の状況	
(1)	看護	64
(2)	心理・相談業務	67
(3)	作業療法	68
(4)	医療教育及び講師派遣	69
(5)	薬剤業務	70
(6)	栄養業務	71

(注) 本年報の表は原則として平成21年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

# I 概 況

# 1 基本理念

患者様やご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます。

# 2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月全国にさきがけ麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後神経症、アルコール依存症、薬物中毒等の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月神奈川県立精神医療センターに組織を改正した。その際名称も芹香病院、せりがや病院に改称し、精神科診療業務を行っている。開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

## 【芹香院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始(150床)
35年7月	第1、第2病棟完成(現作業療法棟2,207.05㎡)
39年4月	地方公営企業法(企業会計方式)の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舎新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長(総務課長兼務)新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場(27アール)整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室(6室)、静養室(16室)改修
2年1月	保護室(8室)改修

## 【せりがや園】

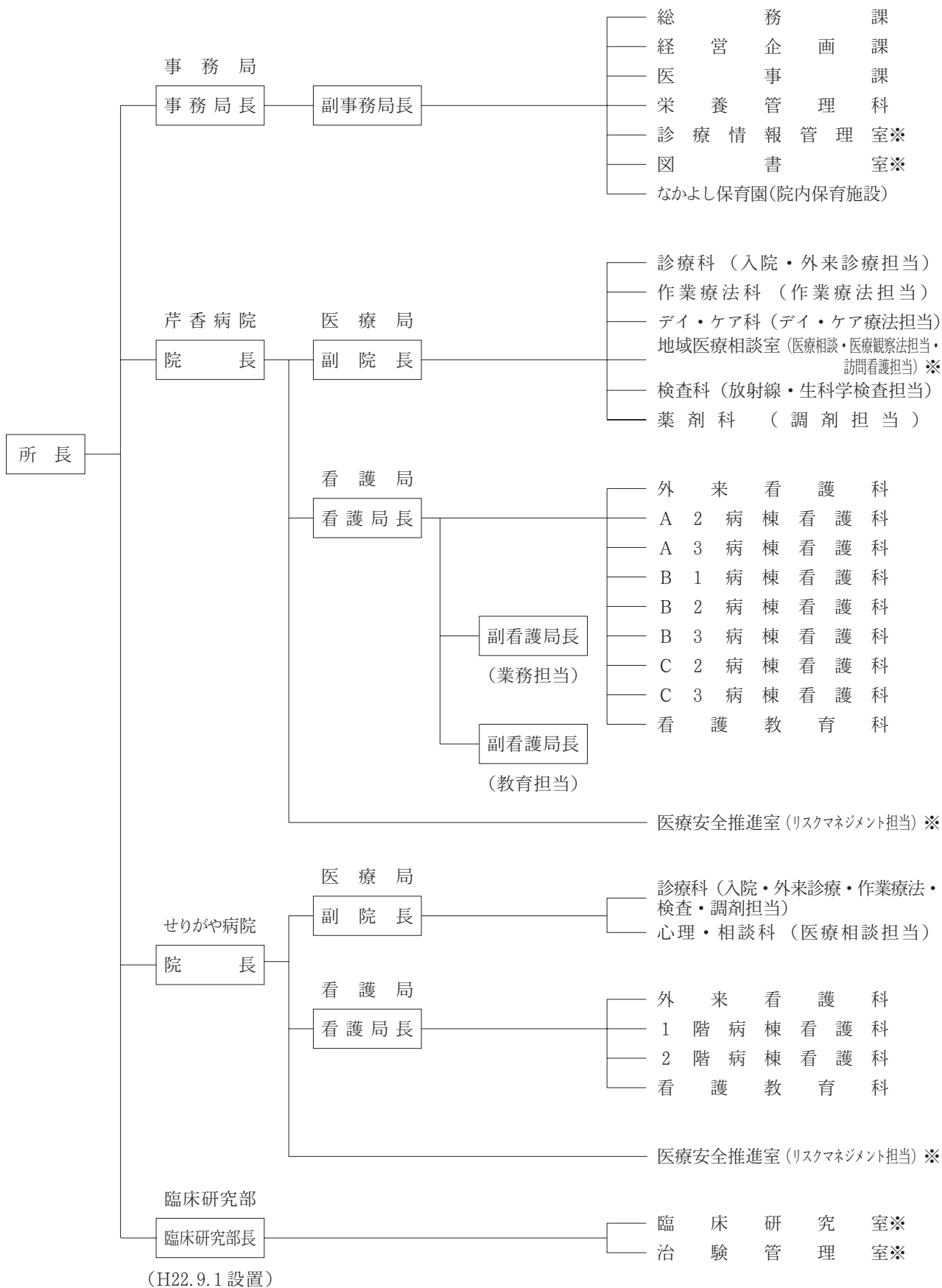
昭和38年 1月	本館新設（サーモコン2階建）
3月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
4月	診療開始（70床）
39年 4月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年 7月	本館増築工事等 病棟、管理部門の改修
52年 4月	病床数（64床）変更

## 【精神医療センター】

平成 2年 4月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置 せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
9月	せりがや病院新築（80床）
3年 4月	芹香病院A1病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修 芹香病院B3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
4年 4月	芹香病院B2病棟保護室（4室）改修
5年 2月	せりがや病院 基準看護結核・精神特2類承認
3月	芹香病院 基準看護結核・精神特2類承認
6年 3月	看護婦共同宿舍、看護師宿舍、職員公舎一戸解体 芹香病院C1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10月	芹香病院、せりがや病院新看護体系3：1承認
7年 3月	芹香病院B1病棟に消防用スプリンクラー設備設置 C棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
7年 5月	せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
8年 3月	芹香病院A1病棟に消防用スプリンクラー設備設置 芹香病院A2病棟に感染症隔離室（2室）設置 芹香病院A3病棟に救急用保護室（4室）、静養室（3室）設置
8年 4月	芹香病院病床数（497床）変更 芹香病院 精神科救急医療開始 選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎3戸解体
12年 7月	芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12月	第1医療職員公舎解体
14年 4月	芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8床）
15年 4月	芹香病院 精神科 救急病棟開設（B-1病棟 26床） 芹香病院 病床数（445床）変更
15年 9月	芹香病院 応急入院指定病院（1床）
15年10月	芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1適用承認 芹香病院 紹介患者加算5実施

平成16年 4月	芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認 芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認 芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認 せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認 芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認
6月	芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
9月	芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年 4月	地方公営企業法全部適用 精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、 栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香 病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称
12月	芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる
18年 1月	芹香病院 診療録管理体制加算 せりがや病院 診療録管理体制加算
4月	芹香病院 15対1精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く） 芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟） 芹香病院 医療安全対策加算 芹香病院 臨床研修病院入院診療加算 芹香病院 栄養管理実施加算 せりがや病院 15対1精神病棟入院基本料 せりがや病院 栄養管理実施加算
8月	芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」
9月	芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定 せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
12月	芹香病院 特定病院認定
19年 5月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2適用承認
8月	せりがや病院 精神科作業療法適用承認
20年 3月	芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床 芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床
4月	芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床 芹香病院 精神科地域移行実施加算
8月	芹香病院 看護補助加算1
21年 2月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）
4月	芹香病院 精神科救急入院料2（B1・B2病棟） 芹香病院 通院対象者社会復帰連携体制強化加算
6月	せりがや病院 褥瘡患者管理加算
9月	芹香病院 病床数（308床）変更
22年 2月	芹香病院 指定入院医療機関の指定（2床） 芹香病院 入院対象者入院医学管理料

### 3 組織・機構 (H22. 4. 1 現在)



※院内組織



#### 4 職員配置状況 (H22. 4. 1現在)

所 属	職	事務吏員	技術吏員	技能吏員	計	非常勤職員	再 任 用 員	契 約 職 員
所 長			1		1			
事 務 局								
事 務 局 長		1			1			
副 事 務 局 長		1			1			
総 務 課		4	1		5	6		2
経 営 企 画 課		6			6			
医 事 課		5			5	2		1
栄 養 管 理 科			3	19	22	27		3
小 計		17	4	19	40	35		6
芹 香 病 院								
院 長			1		1			
副 院 長			1		1			
診 療 科		8	17		25	14		
作 業 療 法 科			5		5			
デ イ ・ ケ ア 科		1	2		3			3
検 査 科		1			1	2		2
薬 剤 科			5		5	2		
看 護 局 長			1		1			
副 看 護 局 長			2		2			
看 護 局			151	10	161	9	1	10
小 計		10	185	10	205	16		15
せ り が や 病 院								
院 長			1		1			
診 療 科			7		7	9		
心 理 ・ 相 談 科		2			2	2		1
看 護 局 長			1		1			
看 護 局			37	1	38	6		4
小 計		2	46	1	49	18		3
計		29	236	30	295	69		24

職種別内訳（H22. 4. 1現在）

職 種 \ 所 属	所 長	事 務 局	芹 香 病 院	せりがや病院	計
一 般 事 務 職		17			17
電 話 交 換 職					
栄 養 士		3			3
調 理 職		19			19
医 師	1		15	5	21
福 祉 職			9	2	11
心 理 判 定 員					
診 療 X 線 職					
作 業 療 法 士			7	2	9
薬 剤 師			5	1	6
看 護 職		1	159	38	198
病 棟 技 能 職			10	1	11
総 数	1	40	205	49	295

## 5 施 設

### 【芹香病院】

土 地		111,978.980㎡	
建 物			
管 理 診 療 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上4階建	3,529.963㎡
サ ー ビ ス 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上1階建	1,733.030㎡
病 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建	
		1 F      2 F      3 F	
	A 棟	” (A1病棟、A2病棟、A3病棟)	4,225.214㎡
	B 棟	” (B1病棟、B2病棟、B3病棟)	4,219.314㎡
	C 棟	” (C1病棟、C2病棟、C3病棟)	4,225.214㎡
社 会 療 法 棟		鉄骨造平屋建	1,055.990㎡
作 業 療 法 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建	2,207.056㎡
温 室		鉄骨造平屋建(2棟)	81.000㎡
倉 庫		軽量鉄骨造平屋建	41.400㎡
ポ ン プ 室		鉄筋コンクリート造平屋建	64.200㎡
営 繕 作 業 棟		鉄骨プレハブ造平屋建	79.570㎡
保 育 施 設		鉄筋コンクリート造平屋建	321.041㎡
喫 茶 棟		”	91.718㎡
車 庫 棟		”	109.395㎡
そ の 他		渡り廊下他	954.825㎡
計		15棟	22,938.930㎡

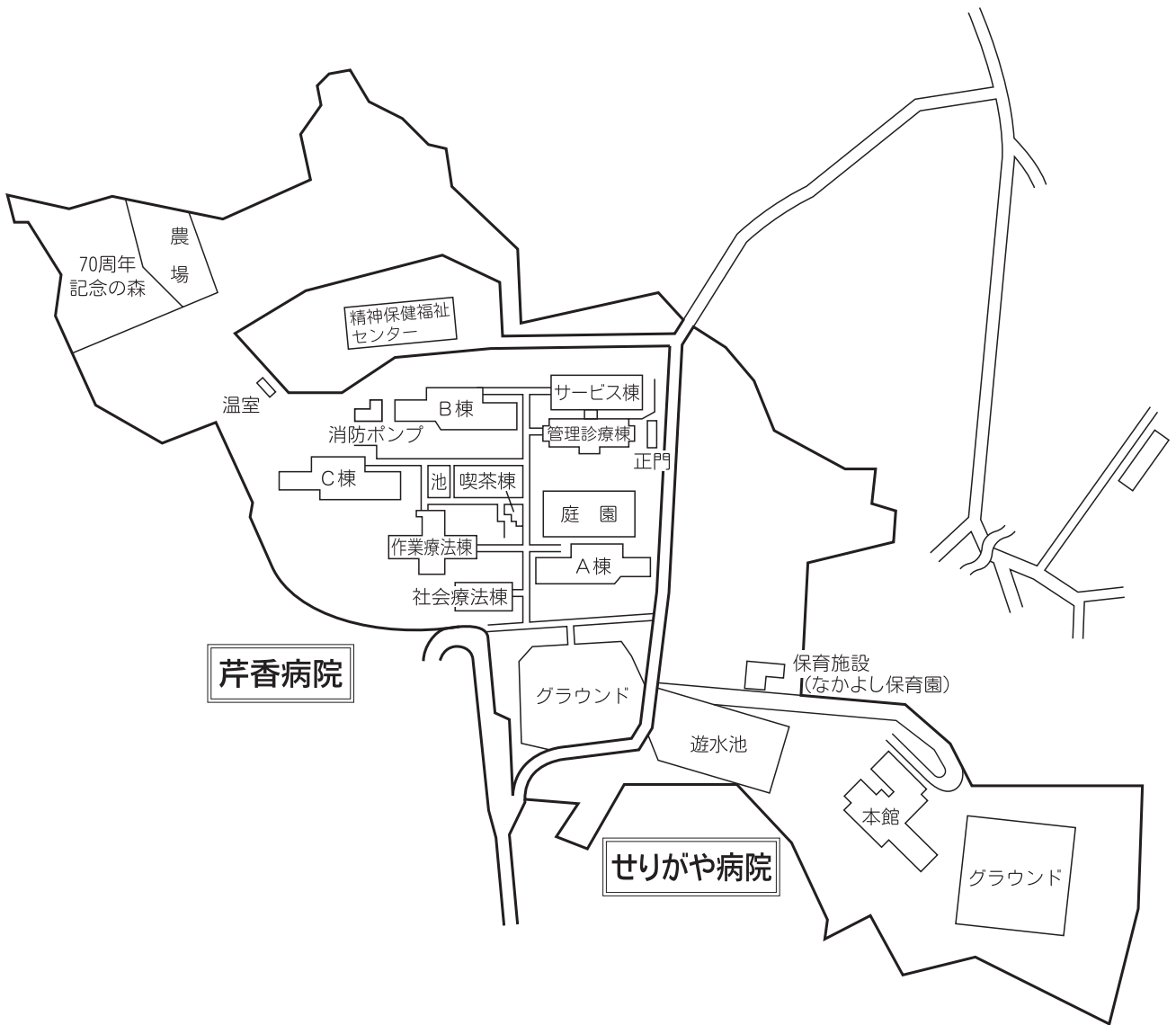
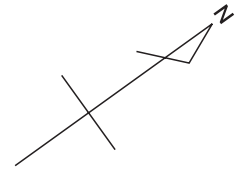
### 【せりがや病院】

土 地		5,196.030㎡	
建 物			
本 館		鉄筋コンクリート造地上2階建	4,426.550㎡
車 庫		鉄骨造平屋建	21.490㎡
倉 庫		”	14.330㎡
計		3棟	4,462.370㎡

### 【精神医療センター計】

土 地		117,175.010㎡
建 物	18棟	27,401.130㎡ (延面積)

# 施設配置図



## 6 主な委員会・会議一覧 (H22. 4. 1 現在)

委員会・会議	目的	所管課(科)	構成員数	開催日
管理者会議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	10人	月2回(第1・第3月)
経営企画会議	両病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医事課	10人	月1回(第3月)
情報管理会議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事課	11人	随時
運営協議会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年1回
倫理審査委員会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	10人	随時
機種等選定会議	備品購入又は賃貸に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な指名選定	経営企画課	11人	随時
教育研修会議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	15人	隔月
運営調整会議	各病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 月2回(第1・第3火) せりがや 月1回(第4水)
感染防止対策会議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	総務課 (医療安全推進室)	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第3火) せりがや 月1回(第2火)
医療事故防止対策会議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	総務課 (医療安全推進室)	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第1火) せりがや 月1回(第2火)
栄養・給食会議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 年4回 せりがや 月1回(第2火)
薬事会議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬剤科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年4回 せりがや 年2回
衛生委員会	各病院の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	芹香 9人 せりがや 10人	芹香 月1回 せりがや 月1回
看護科長会議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	芹香 12人 せりがや 4人	芹香 月2回(第1・第3水) せりがや 月2回(第1・第3水)

## 7 主な研修実績

月	研 修	担 当	開 催 日		テ ー マ	参加した人数	講師・その他
4月	新採用・転入職員研修	芹香病院看護局・(総務課)	4月1日～3日	8:30～17:15		23名	
6月	静脈注射研修	静脈注射検討部会	6月23日・30日	17:30～18:30	安全な生食ロックについて	32名	水谷亜以子医師
7月	感染対策勉強会(せりがや病院全職員)	医療事故防止対策会議	7月6日		正しい手洗いの方法について	13名	篠崎百合子副技官(医療安全推進室)
	S S T 研 修	SST 運営会議・教育研修会議	7月25日・26日		生活技能訓練初級研修	28名	島田栄子医師
	医療事故防止研修①	医療事故防止対策会議	7月17日	17:30～	看護関連の医療事故の傾向について	40名	ヤンセンファーマ(株)品川丈太郎医師
8月	事故防止研修・人権研修	総務課	8月20日	15:00～16:00	人権・不祥事防止、情報管理	37名	岩澤副総務局長、 県立病院課情報課担当
9月	感染防止研修①	感染防止対策会議	9月2日	17:30～	新型インフルエンザの基礎知識について 防護具と手洗いについて	85名	佐伯隆史医師 二瓶比呂志(感染管理認定看護婦)
	医療観察法	教育研修会議・看護局	9月25日	17:30～19:25	医療観察法小規格病棟とは	75名	大阪府精神医療センター 副看護部長 奥山修氏
10月	研究発表会1回目	教育研修会議	10月28日	15:00～17:00		72名	7セクション発表
11月	衛生委員会研修	衛生委員会	11月30日	15:00～16:00	うつ病について	18名	中村元昭医師
12月	衛生委員会研修	衛生委員会	12月7日	15:00～16:00	薬物依存症について	25名	上原久美医師
	研究発表会2回目	教育研修会議	12月2日	15:00～16:00		72名	8セクション発表
1月	医療安全フォーラム	医療事故防止対策会議	1月26日～28日	9:30～16:00	事故防止対策・感染防止対策への取り組み	270名	
	医療観察法病棟全体研修	医療観察法運営会議	1月7日～28日	(41時間15分)	講義回数 15回	657名	講師16名 (外部講師10名)
2月	接 遇 研 修	教育研修会議	2月18日	16:00～17:00	接遇研修	29名	芹香病院 看護科長 内橋ふさ子 前野紀子 せりがや病院 看護科長 日向美枝子
	研究発表会3回目	教育研修会議	2月24日	15:00～16:45		63名	6セクション発表
3月	薬剤の安全管理の研修	医療事故防止対策会議	3月5日	17:15～16:45	「医薬品の安全管理」 どうしたらエラーが減るの?	25名	専門薬剤師 森田陽子
	救急蘇生	教育研修会議	3月8日	17:30～19:00	救急時の初期対応	47名	がんセンター・循環呼センター 認定看護師4名
	講演会	せりがや病院	3月29日	18:00～19:30	薬物依存症治療における最近の動向	56名	国立精神医療センター 精神保健研究所 松本俊彦医師

## Ⅱ 芹香病院事務事業の状況

# 1 芹香病院基本方針

## 1 県民に信頼され親しまれる病院にいたします。

常に県民のニーズを考え、その期待に応えられるようにするとともに、心あたたかい医療を実践することで親しみのある病院づくりを行います。

## 2 神奈川県精神科中核病院として高度で専門的な医療を提供します。

進歩発展を続ける最新の医療水準を取り入れながら、精神科救急などの専門的医療を推し進めていきます。

## 3 適切で円滑な入院受入れと早期退院に努力し社会復帰を支援します。

入院の必要な患者様をスムーズに受け入れるとともに、当初より早期退院を目指して計画的な援助を行い、社会復帰や地域生活を支援します。

## 4 患者様の権利に配慮し納得してもらえる医療を心がけます。

患者様の権利について十分配慮するとともに、インフォームド・コンセントを重視し患者様とともに治療に取り組んでいきます。

## 5 医療の安全管理を徹底し安心して療養できるよう努めます。

職員の安全教育を繰り返し行うとともに、安心して療養できる環境づくりにも日頃から配慮していきます。

## 6 県立病院として健全な経営を目指します。

公共性と医療水準を維持しながら、合理的で効果的な経営のあり方を通して、健全で自立した病院経営に努力します。



## 2 経理の状況

### (1) 病院事業会計決算状況

#### ア 収益的収入及び支出

平成21年度の収益的収入及び支出は、前年度に比較し、収益で1.5%の減少、費用で1.0%の増加となっている。

科 目	平成21年度		平成20年度		対前年度比 (%)	備 考
	金 額(千円)	収益比(%)	金 額(千円)	収益比(%)		
病院事業収益	3,758,866	100.0	3,818,695	100.0	98.4	
医業収益	2,049,859	54.5	1,967,616	51.5	104.2	
入院収益	1,509,804	40.2	1,413,073	37.0	106.8	
外来収益	524,012	13.9	540,377	14.1	96.8	
その他	16,043	0.4	14,166	0.4	113.2	
医業外収益	1,709,007	45.5	1,851,079	48.5	92.3	
受取り利息及び配当	2,715	0.1	2,893	0.1	93.8	
補助金	44,316	1.2	35,542	0.9	124.7	
他会計負担金	1,631,000	43.4	1,798,555	47.1	90.7	
患者外給食収益	8,336	0.2	8,793	0.2	94.8	
その他医業外収益	22,640	0.6	5,296	0.2	427.5	
特別収益	0	—	0	—	—	
その他特別収益	0	—	0	—	—	
病院事業費用	4,005,842		3,962,613	100.0	101.1	
医業費用	3,795,773	94.8	3,901,430	98.5	97.3	
給与費用	2,795,838	69.8	2,913,780	73.5	95.9	
材料費用	434,660	10.8	464,054	11.7	93.7	
経理費用	492,928	12.3	442,459	11.2	111.4	
統括管理費	3,116	0.1	2,936	0.1	106.1	
減価償却費	61,820	1.5	63,540	1.6	97.3	
資産減耗費	58	0.0	7,969	0.2	0.1	
研究研修費	7,353	0.2	6,692	0.2	109.9	
医業外費用	59,313	1.5	60,907	1.5	97.4	
支払利息及び病院債取扱諸費	484	0.0	480	0.0	100.8	
繰延勘定償却費	2,365	0.1	2,293	0.1	103.1	
患者外給食材料費	8,168	0.2	9,045	0.2	90.3	
雑損失	48,296	1.2	49,089	1.2	98.4	
特別損失	150,756	3.7	276	0.0	54,621.7	
損益	▲ 246,976		▲ 143,918	—	171.6	

#### イ 資本的支出

平成21年度の資本的支出は、210%の増加となっている。このうち、病院建築費については、工事請負費として医療観察法小規模病棟整備工事はじめ、20,504千円の工事を行っている。そして、資産購入費については、備品購入費として22,839千円となっている。

科 目	平成21年度(千円)	平成20年度(千円)	対前年度比(%)	備 考
資本的支出	155,904	74,117	210.3	
建設改良費	49,091	39,854	123.2	
病院建築費	20,504	13,111	156.4	
工事委託費	2,310	12,156	19.0	
工事請負費	18,194	955	1,905.1	
資産購入費	22,839	14,877	153.5	
備品購入費	22,839	14,877	153.5	
その他資産購入費	0	0	—	
総係費	5,748	11,866	48.4	
病院債償還金	106,813	34,263	311.7	

### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成21年度	平成20年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	445 (308)	445 (308)	100.0 (93.8)	
取扱患者数		人	125,932	134,292	93.8	
入院患者		人	86,179	91,495	94.2	
外来患者		人	39,753	42,797	92.9	
1日平均取扱患者数		人	400.4	397.3	100.8	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	236.1	250.7	94.2	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	164.3	146.6	112.0	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	53.1 (76.7)	56.3 (80.1)	94.3 (95.8)	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	126.1	143.0	88.2	
入院外来患者比率	取扱外来患者数/取扱入院患者数×100-100	%	46.1	46.8	98.5	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	19.2	23.0	83.4	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	2.3	2.2	104.5	
職員数		人	252	256	98.4	期末人数
医師		人	18	16	112.5	期末人数
看護師		人	150	170	88.2	期末人数
その他職員		人	84	70	120.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	62.1	57.5	108.0	
医師	職員数/病床数×100	人	4.4	3.6	122.2	
看護師	職員数/病床数×100	人	36.9	37.4	98.6	
その他職員	職員数/病床数×100	人	20.7	15.4	134.4	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	16,277	14,652	111.0	
入院患者	入院収益/入院患者数	円	17,519	15,445	113.4	
外来患者	外来収益/外来患者数	円	13,182	12,626	104.4	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	312,002	336,921	92.6	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	37,440	31,710	118.0	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	30,141	29,052	103.7	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	2,725	2,700	100.9	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	873	912	95.7	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	185.2	198.2	93.4	
給与費	給与費/医業収益×100	%	136.4	148.1	92.0	
材料費	材料費/医業収益×100	%	21.2	23.6	89.8	
経費	経費/医業収益×100	%	24.0	22.5	106.6	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日(平成21・20年度共)を乗じ算出した

(注) 「病床数」欄の( )内は稼働病床数を示す

(注) 「病床利用率」欄の( )内は稼働病床数の病床利用率を示す

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

延患者数では3,044人減で対前年度比7.1%減となっている。また、新患については112人減の対前年度比12.3%減となっている。新外来患者数の病類別は、統合失調症が全体の45.6%で前年度に比べ10.0ポイント増え、気分障害を抜いて最も多くなった。

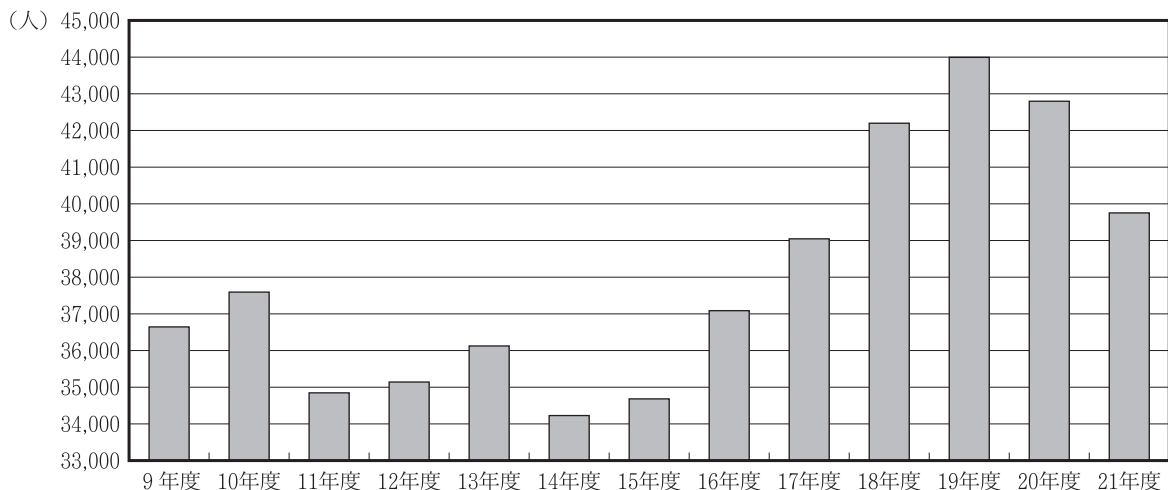
#### ア 月別外来患者数

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
21	新患	62	74	62	76	60	78	74	57	64	62	52	80	801
	再来	3,611	3,153	3,450	3,612	3,232	3,336	3,431	2,966	2,965	2,942	2,841	3,413	38,952
	延患者数	3,673	3,227	3,512	3,688	3,292	3,414	3,505	3,023	3,029	3,004	2,893	3,493	39,753
	一日平均	174.9	179.3	159.6	167.6	156.8	179.7	166.9	159.1	159.4	158.1	152.3	158.8	164.3
20	新患	110	71	62	82	61	79	80	78	67	82	72	69	913
	再来	3,761	3,592	3,408	3,824	3,305	3,464	3,759	3,226	3,439	3,318	3,238	3,550	41,884
	延患者数	3,871	3,663	3,470	3,906	3,366	3,543	3,839	3,304	3,506	3,400	3,310	3,619	42,797
	一日平均	154.8	152.6	138.8	150.2	129.5	147.6	147.7	143.7	152.4	141.7	143.9	144.8	146.1

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

(注) 平成21年4月から、土曜日は休診となる

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 病類別新外来患者数

年度	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
21	男	4	11	8	4	3	173	119		27		3	1		5	358
	女	9	6		1	1	137	101		44	2	14	3		2	320
	計	13	17	8	5	4	310	220		71	2	17	4		7	678
	構成比	2.1	2.5	1.2	0.7	0.6	45.6	32.3		10.6	0.3	2.5	0.6		1.0	100.0
20	男	8	8	7	4	12	139	185		23	1	2	1		6	396
	女	11	8	4	1	3	134	166		35		6	1		2	371
	計	19	16	11	5	15	273	351		58	1	8	2		8	767
	構成比	2.5	2.1	1.4	0.6	2.0	35.6	45.8		7.6	0.1	1.0	0.3		1.0	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ 年齢別新外来患者数

年度	年齢		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
	区分									
21	男		13	46	100	91	58	31	19	358
	女		11	63	92	58	33	31	32	320
	計		24	109	192	149	91	62	51	678
	構成比		3.5	16.1	28.5	21.8	13.3	9.1	7.7	100.0
20	男		11	64	107	98	45	32	39	396
	女		17	57	96	62	51	33	55	371
	計		28	121	203	160	96	65	94	767
	構成比		3.6	15.8	26.5	20.9	12.5	8.5	12.2	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	21	20		21	20		21	20		
横 浜 市	2,360	2,442	横 須 賀 市	76	72	足 柄 上 郡	3	4		
	鶴 見 区	43	44	平 塚 市	10		15	中 井 町	1	0
	神 奈 川 区	75	67	鎌 倉 市	39		47	大 井 町	2	2
	西 区	69	76	藤 沢 市	50		62	松 田 町	0	2
	中 区	86	91	小 田 原 市	8		9	山 北 町	0	0
	南 区	445	431	茅 ヶ 崎 市	12		17	開 成 町	0	0
	港 南 区	468	505	逗 子 市	18	20	足 柄 下 郡	2	2	
	保 土 ヶ 谷 区	169	178	相 模 原 市	18	24	箱 根 町	1	1	
	旭 区	81	82	三 浦 市	14	13	真 鶴 町	0	0	
	磯 子 区	183	179	秦 野 市	6	8	湯 河 原 町	1	1	
	金 沢 区	121	129	厚 木 市	11	15	県 内 計	2,752	2,896	
	港 北 区	32	44	大 和 市	13	23	東 京 都	28	33	
	緑 区	30	37	伊 勢 原 市	2	1	埼 玉 県	4	9	
	戸 塚 区	323	324	海 老 名 市	11	11	千 葉 県	4	5	
	瀬 谷 区	30	32	座 間 市	6	6	群 馬 県	1	0	
	栄 区	96	104	南 足 柄 市	3	5	栃 木 県	0	2	
	泉 区	78	85	綾 瀬 市	10	9	山 梨 県	0	1	
	青 葉 区	16	17	三 浦 郡 葉 山 町	0	6	静 岡 県	5	5	
	都 筑 区	15	17	高 座 郡 寒 川 町	3	1	茨 城 県	2	2	
川 崎 市	71	72	愛 甲 郡	0	2	そ の 他 の 県	22	16		
	川 崎 区	18	16	愛 川 町	0	2	県 外 計	66	73	
	幸 区	6	10	清 川 村	0	0	住 所 不 明	0	0	
	中 原 区	13	16	中 郡	6	10	計	2,818	2,969	
	高 津 区	12	11	大 磯 町	5	6				
	宮 前 区	7	3	二 宮 町	1	4				
	多 摩 区	6	12							
	麻 生 区	9	4							

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

## (2) 入院患者の状況

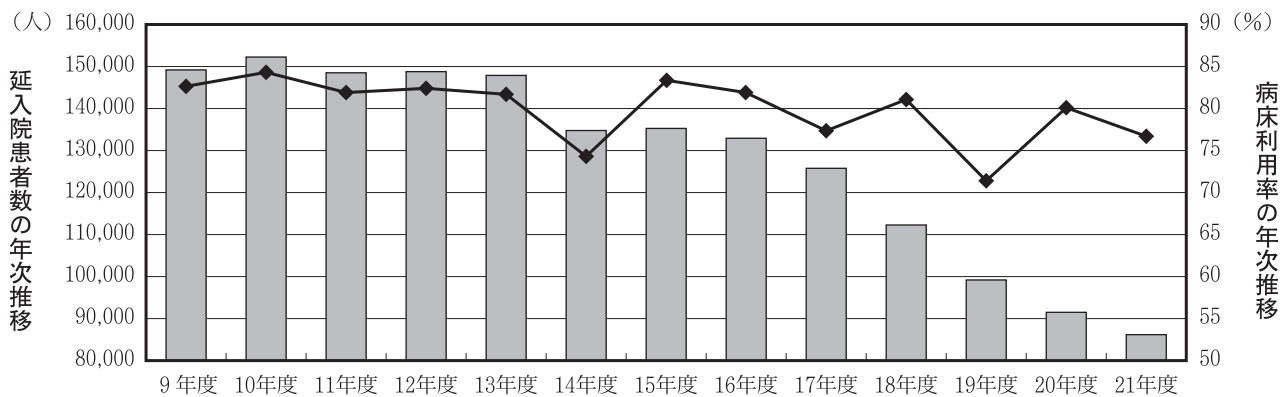
平成21年度は、延患者数86,179人で前年度と比べ5,316人減で対前年度比5.8%減となっている。病床利用率は76.7%で対前年度比3.4ポイントの減となっている。新入院患者は前年度に比べ4.0%増となっている。病類別は統合失調症が最も多く42.6%を占めているが、新入院患者では気分障害が全体の36.6%で前年度に比べ3.7ポイント減ったが、統合失調症に次ぎ大きなウェイトを占める。これは平成20年4月からうつ病対策としてストレスケア病棟を開棟したことによるものである。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比22ポイント増、医療保護入院が5.8ポイント減、措置入院が0.3ポイント減、鑑定入院は0.1ポイント増となっている。また平成21年度は医観法入院処遇が平成22年度2月より始まり、医療観察関係の入院は0.6となっている。臨床研究入院は4.3%と増加している。

### ア 月別入院患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
21	入院	43	58	71	63	69	53	70	35	47	51	56	61	677
	退院	54	53	62	64	76	60	58	60	45	44	43	71	690
	延患者数	7,195	7,289	7,165	7,711	7,797	7,084	7,196	6,918	6,689	7,083	6,624	7,428	86,179
	病床利用率	77.9	76.3	77.5	80.8	81.7	76.7	75.4	74.9	70.1	74.2	76.8	77.8	76.7
20	入院	62	61	39	53	48	54	54	48	62	59	51	60	651
	退院	41	33	49	56	44	67	59	47	61	48	57	67	629
	延患者数	6,904	7,875	7,864	7,960	7,981	7,673	7,609	7,203	7,615	7,900	7,231	7,680	91,495
	病床利用率	72.4	79.9	82.4	80.7	81.0	80.4	79.7	78.0	79.8	82.7	83.8	80.4	80.1

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



### ウ 病類別新入院患者数

年度	病類(ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
21	男	1	9	3	3	4	94	84	8	1	2	2		6	217	
	女	3	4		1	1	70	57	19	2	7	2		2	168	
	計	4	13	3	4	5	164	141	27	3	9	4		8	385	
	構成比	1.0	3.4	0.8	1.0	1.3	42.6	36.6	7.0	0.8	2.4	1.0		2.1	100.0	
20	男	8	5	4	2	11	86	82	12			4		3	217	
	女	8	1	1	1	3	62	73	12	2	3	1		1	168	
	計	16	6	5	3	14	148	155	24	2	3	5		4	385	
	構成比	4.2	1.6	1.3	0.8	3.6	38.4	40.3	6.2	0.5	0.8	1.3		1.0	100.0	

(注) 新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

エ 病類別・年齢別実入院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比	
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
21	19歳以下	男						3	1		2					4	10	2.3	
		女						5	1		3			1	1				11
		小計						8	2		5			1	1		4		21
	20～29歳	男					3	33	7					1	2	1	1	48	13.0
		女		1		1	1	33	15		9	2	7	2				71	
		小計		1		1	4	66	22		9	2	8	4	1	1	119		
	30～39歳	男		2	1	1	2	69	33		4		3	3			4	122	23.7
		女		2		1	1	57	15		11	1	4	1		2	95		
		小計		4	1	2	3	126	48		15	1	7	4		6	217		
	40～49歳	男		5		3		69	41		4	1		1				124	22.1
		女		1				56	17		1		4					79	
		小計		6		3		125	58		5	1	4	1				203	
	50～59歳	男		3	1			73	18		1			1				97	18.1
		女		2			1	41	21		4							69	
		小計		5	1		1	114	39		5				1			166	
60～69歳	男		4			1	39	19					1	2			66	13.2	
	女	1	1				33	17		3							55		
	小計	1	5			1	72	36		3			1	2			121		
70歳以上	男	6	2	1			15	9					1				34	7.6	
	女	6	2				7	18		2		1					36		
	小計	12	4	1			22	27		2		1	1				70		
計	男	6	16	3	4	6	301	128		11	1	4	9	3	9	501	100.0		
	女	7	9		2	3	232	104		33	3	17	4		2	416			
	計	13	25	3	6	9	533	232		44	4	21	13	3	11	917			
	構成比	1.4	2.7	0.3	0.7	1.0	58.1	25.3		4.8	0.4	2.3	1.4	0.3	1.3	100.0			
20	19歳以下	男						4	1		2			1		5	13	2.4	
		女						3	1		2			1		1	8		
		小計						7	2		4			2		6	21		
	20～29歳	男		2		1	2	45	5		3		1	4	1	1	64	12.4	
		女		1		1	4	20	7		5	1	3		1	1	44		
		小計		3		2	6	65	12		8	1	4	4	2	1	108		
	30～39歳	男			1	1	5	72	26		6			1			112	23.4	
		女		4	1	2		50	23		7	1	1	2			91		
		小計		4	2	3	5	122	49		13	1	1	3			203		
	40～49歳	男		3	1	1	5	64	32		2						108	20.7	
		女					1	46	22		3						72		
		小計		3	1	1	6	110	54		5						180		
	50～59歳	男		3			2	54	22		2			1			84	17.4	
		女		2				51	14								67		
		小計		5			2	105	36		2			1			151		
60～69歳	男		7	3		2	46	18					1	1		78	15.0		
	女	2	1				29	19		1						52			
	小計	2	8	3		2	75	37		1			1	1		130			
70歳以上	男	10	1				14	7		1			1			34	8.7		
	女	9					14	18		1						42			
	小計	19	1				28	25		2			1			76			
計	男	10	16	5	3	16	299	111		16		1	9	2	5	493	100.0		
	女	11	8	1	3	5	213	104		19	2	4	3	1	2	376			
	計	21	24	6	6	21	512	215		35	2	5	12	3	7	869			
	構成比	2.4	2.8	0.7	0.7	2.4	58.9	24.7		4.0	0.2	0.6	1.4	0.4	0.8	100.0			

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

オ 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度	
	21	20		21	20		21	20
横浜市	646	608	横須賀市	19	21	足柄上郡	3	2
鶴見区	15	14	平塚市	9	14	中井町	1	0
神奈川区	24	13	鎌倉市	18	15	大井町	2	2
西区	20	23	藤沢市	29	27	松田町	0	0
中区	20	26	小田原市	4	6	山北町	0	0
南区	116	98	茅ヶ崎市	11	14	開成町	0	0
港南区	115	119	逗子市	4	5	足柄下郡	2	1
保土ヶ谷区	47	36	相模原市	13	15	箱根町	0	0
旭区	31	24	三浦市	6	8	真鶴町	0	0
磯子区	45	50	秦野市	7	6	湯河原町	2	1
金沢区	33	36	厚木市	8	9	県内計	868	834
港北区	14	23	大和市	10	15	東京都	12	11
緑区	12	12	伊勢原市	1	0	埼玉県	1	2
戸塚区	76	62	海老名市	9	5	千葉県	3	3
瀬谷区	16	6	座間市	5	5	茨城県	0	0
栄区	29	30	南足柄市	1	2	群馬県	0	0
泉区	23	23	綾瀬市	4	6	栃木県	0	2
青葉区	6	8	三浦郡葉山町	0	3	静岡県	2	1
都筑区	4	5	高座郡寒川町	5	0	その他の県	33	16
川崎市	51	42	愛甲郡	0	1	県外計	51	35
川崎区	14	11	愛川町	0	1	住所不明	0	0
幸区	5	7	清川村	0	0	計	919	869
中原区	5	7	中郡	3	4			
高津区	8	6	大磯町	2	1			
宮前区	11	2	二宮町	1	3			
多摩区	2	7						
麻生区	6	2						

カ 入院費負担区分別患者数（平成22年3月現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活保護 法	精神保健 福祉法	感染症法 (第37条)	自費	その他	計
		本人	家族							
21	男	6	12	93	24	2			4	141
	女		18	51	15	2				86
	計	6	30	144	39	4			4	227
	構成比	2.6	13.2	63.4	17.2	1.8			1.8	100.0
20	男	6	11	98	24	5			3	147
	女	4	10	59	20					93
	計	10	21	157	44	5			3	240
	構成比	4.2	8.8	65.4	18.3	2.1			1.2	100.0

(注) 本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
21	任意	男	10	6	13	14	9	12	6	7	7	15	8	15	122
		女	11	13	21	10	16	7	21	6	4	9	15	9	142
		小計	21	19	34	24	25	19	27	13	11	24	23	24	264
		構成比	48.8	32.8	47.9	38.1	36.2	35.8	38.5	37.1	23.4	47.1	41.0	39.3	39.0
	医療保護	男	12	11	19	13	13	11	13	5	10	7	15	7	136
		女	9	14	8	10	19	9	13	6	19	10	9	15	141
		小計	21	25	27	23	32	20	26	11	29	17	24	22	277
		構成比	48.8	43.1	38.0	36.5	50.8	37.7	37.1	31.4	61.7	33.3	42.9	36.1	40.9
	措置	男		7	4	6	7	8	11	8	3	4	7	4	69
		女		2	1	7	1	3	2	2	4	2	1	3	28
		小計		9	5	13	8	11	13	10	7	6	8	7	97
		構成比		15.5	7.1	20.6	11.6	20.8	18.6	28.6	14.9	11.8	14.3	11.5	14.3
	鑑定	男		1	1			1				2			5
		女				1									1
		小計		1	1	1		1				2			6
		構成比		1.7	1.4	1.6		1.9				3.9			0.9
	医観法 特例措置	男							1						1
		女							1						1
		小計							2						2
		構成比							2.9						0.3
	医観法 入院処遇	男												2	2
女													3.3	0.3	
小計													2	2	
構成比													3.3	0.3	
臨床研究	男		3	1	2	3		2	1		2		5	19	
	女	1	1	3	2	1	2					1	1	10	
	小計	1	4	4	2	4	2	2	1		2	1	6	29	
	構成比	2.4	6.9	5.6	3.2	5.8	3.8	2.9	2.9		3.9	1.8	9.8	4.3	
計	男	22	28	38	35	32	32	33	21	20	30	30	33	354	
	女	21	30	33	28	37	21	37	14	27	21	26	28	323	
	計	43	58	71	63	69	53	70	35	47	51	56	61	677	
20	任意	男	9	16	6	14	5	12	9	5	12	16	8	12	124
		女	15	10	5	8	12	9	13	4	11	8	13	8	116
		小計	24	26	11	22	17	21	22	9	23	24	21	20	240
		構成比	38.7	42.6	28.2	41.5	35.4	38.9	40.7	18.8	37.1	40.7	41.2	33.4	36.8
	医療保護	男	17	12	14	8	14	8	11	18	15	21	8	12	158
		女	12	14	9	12	10	19	10	11	12	11	9	17	146
		小計	29	26	23	20	24	27	21	29	27	32	17	29	304
		構成比	46.8	42.6	59.0	37.7	50.0	50.0	38.9	60.4	43.6	54.2	33.3	48.3	46.7
	措置	男	7	6	4	10	4	4	5	7	7		7	6	67
		女	2	2	1	1	2	1	5	3	4	2	5		28
		小計	9	8	5	11	6	5	10	10	11	2	12	6	95
		構成比	14.5	13.1	12.8	20.8	12.5	9.2	18.5	20.8	17.7	3.4	23.5	10.0	14.6
	鑑定	男		1			1		1					1	4
		女									1				1
		小計		1			1		1		1			1	5
		構成比		1.7			2.1		1.9		1.6			1.7	0.8
	医観法 特例措置	男												1	1
		女						1						1	2
		小計						1						2	3
		構成比						1.9						3.3	0.5
	臨床研究	男										1	1	2	4
女															
小計											1	1	2	4	
構成比											1.7	2.0	3.3	0.6	
計	男	33	35	24	32	24	24	26	30	34	38	24	34	358	
	女	29	26	15	21	24	30	28	18	28	21	27	26	293	
	計	62	61	39	53	48	54	54	48	62	59	51	60	651	

(注) 本表の患者とは、当年度に新たに入院した数  
(注) 「措置」には緊急措置入院・応急入院もふくまれる  
(注) 平成21年度より新たに「医観法入院処遇」が加わる



ク 病類別・在院期間別在院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
	期間	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
21	1年未満	男	1	5	1	2	1	43	12		1					2	68	52.0
		女		1			2	31	12		4						50	
		小計	1	6	1	2	3	74	24		5					2	118	
	1～2年	男		1				19	1						1		22	15.4
		女	1	2				10									13	
		小計	1	3				29	1					1			35	
	3～4年	男						11									11	9.3
		女						10									10	
		小計						21									21	
	5～9年	男						15	1								16	10.6
		女						8									8	
		小計						23	1								24	
	10～19年	男						16									16	8.8
		女						4									4	
小計							20									20		
20～29年	男						6									6	2.6	
	女															0		
	小計						6									6		
30年以上	男						2									2	1.3	
	女						1									1		
	小計						3									3		
計	男	1	6	1	2	1	112	14			1			1	2	141	100.0	
	女	1	3			2	64	12			4					86		
	計	2	9	1	2	3	176	26			5			1	2	227		
	構成比	0.9	4.0	0.4	0.9	1.3	77.6	11.5			2.2			0.4		0.9		100.0
20	1年未満	男	3	1			1	39	16		1			4	2	1	68	51.3
		女	1	2		1		32	14		4		1				55	
		小計	4	3		1	1	71	30		5		1	4	2	1	123	
	1～2年	男						20	1								21	16.7
		女	2					16						1			19	
		小計	2					36	1					1			40	
	3～4年	男						12									12	7.9
		女						7									7	
		小計						19									19	
	5～9年	男						17	1								18	10.4
		女						7									7	
		小計						24	1								25	
	10～19年	男						17									17	8.8
		女						4									4	
小計							21									21		
20～29年	男		1				8									9	3.7	
	女															0		
	小計		1				8									9		
30年以上	男						2									2	1.2	
	女						1									1		
	小計						3									3		
計	男	3	2			1	115	18			1			4	2	1	147	100.0
	女	3	2		1		67	14			4		1	1		93		
	計	6	4		1	1	182	32			5		1	5	2	1	240	
	構成比	2.5	1.7		0.4	0.4	75.9	13.3			2.1		0.4	2.1	0.8	0.4	100.0	

ケ 病類別・転帰別退院患者数

年度	転帰	病類(ICD)区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
			男	女	男	女	男			女	男								女
21	全快	男																	
		女																	
		小計																	
	軽快	男	4	3	5	2	3	108	72	13		3	5	1	10	229	68.9		
		女	5	3	1		1	123	61	32	1	15	2		2	246			
		小計	9	6	6	2	4	231	133	45	1	18	7	1	12	475			
	未治	男			1	1		6	6	3		1	1			19	5.5		
		女	1	1	1			4	7	1		4				19			
		小計	1	1	2	1		10	13	4		5	1			38			
	転医	男	3	5	3	1	2	58	10	1		1	3		1	88	20.1		
		女	1	1				36	4	4	1	1	2		1	51			
		小計	4	6	3	1	2	94	14	5	1	2	5		2	139			
	死亡	男						1								1	0.3		
		女		1												1			
		小計		1				1								2			
	鑑定了	男						3				1				4	0.7		
女							1								1				
小計							4				1				5				
医観法入院処遇終了	男						1								1	0.3			
	女						1								1				
	小計						2								2				
臨研終了	男							19							19	4.2			
	女							10							10				
	小計							29							29				
計	男	7	8	9	4	5	177	107	17		6	9	1	11	361	100.0			
	女	7	6	2		1	165	82	37	2	20	4		3	329				
	小計	14	14	11	4	6	342	189	54	2	26	13	1	14	690				
	構成比	2.0	2.0	1.6	0.6	0.9	49.6	27.4	7.8	0.3	3.8	1.9	0.1	2.0	100.0				
年度	転帰	病類(ICD)区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
			男	女	男	女	男			女	男								女
20	全快	男																0.0	
		女																	
		小計																	
	軽快	男	7	2		2	4	105	74	8		1	1	2	2	208	65.3		
		女	6	2	1	1	2	103	69	15	1	2			1	203			
		小計	13	4	1	3	6	208	143	23	1	3	1	2	3	411			
	未治	男						1	5	4			2			12	2.1		
		女								1						1			
		小計						1	5	5			2			13			
	転医	男	2	7	4	2	5	75	14	5			3	1	2	120	31.0		
		女	2	5	1		2	42	13	4		4	1		1	75			
		小計	4	12	5	2	7	117	27	9		4	4	1	3	195			
	死亡	男						1								1	0.3		
		女						1								1			
		小計						2								2			
	鑑定了	男					2	2								4	0.8		
女							1								1				
小計						2	3								5				
臨研終了	男							3							3	0.5			
	女														0				
	小計							3							3				
計	男	9	9	4	4	11	184	96	17		1	6	3	4	348	100.0			
	女	8	7	2	1	4	147	82	20	1	6	1		2	281				
	小計	17	16	6	5	15	331	178	37	1	7	7	3	6	629				
	構成比	2.7	2.5	0.9	0.8	2.4	52.6	28.3	5.9	0.2	1.1	1.1	0.5	1.0	100.0				

(注) 「臨床」とは臨床研究入院のこと

コ 病類別・在院期間別退院患者数（21年度）

期間	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男	7	7	9	4	5	158	107		17		6	9	1	11	341	95.6
	女	7	6	2		1	153	81		37	2	20	3		3	315	
	小計	14	13	11	4	6	311	188		54	2	26	12	1	14	656	
1～2年	男						7									7	1.7
	女						7	1					1			9	
	小計						14	1					1			16	
3～4年	男						2									2	0.8
	女						3									3	
	小計						5									5	
5～9年	男						5									5	1.1
	女						2									2	
	小計						7									7	
10～19年	男						2									2	0.5
	女															0	
	小計						2									2	
20～29年	男		1				3									4	0.3
	女															0	
	小計		1				3									4	
30年以上	男															0	0.0
	女															0	
	小計															0	
計	男	7	8	9	4	5	177	107		17		6	9	1	11	361	100.0
	女	7	6	2		1	165	82		37	2	20	4		3	329	
	計	14	14	11	4	6	342	189		54	2	26	13	1	14	690	
	構成比	2.0	2.0	1.6	0.6	0.9	49.6	27.4		7.8	0.3	3.8	1.89	0.1	2.0	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
21	取扱件数	(5) 15	(14) 29	(8) 24	(15) 28	(11) 29	(16) 31	(12) 23	(12) 26	(10) 33	(11) 21	(8) 17	(10) 19	(132) 295
	入院	(2) 8	(11) 21	(6) 14	(13) 19	(8) 18	(12) 22	(11) 17	(11) 17	(7) 15	(7) 11	(8) 13	(8) 14	(104) 189
	外来処置	(3) 7	(3) 8	(2) 10	(2) 9	(3) 11	(4) 9	(1) 6	(1) 9	(3) 18	(4) 10	(0) 4	(2) 5	(28) 106
20	取扱件数	(9) 23	(12) 19	(8) 19	(15) 27	(12) 18	(12) 21	(15) 25	(13) 24	(13) 31	(6) 26	(14) 21	(11) 25	(140) 279
	入院	(9) 16	(10) 11	(6) 15	(12) 17	(9) 12	(8) 13	(12) 18	(11) 17	(10) 19	(5) 17	(11) 14	(10) 18	(113) 187
	外来処置	(0) 7	(2) 8	(2) 4	(3) 10	(3) 6	(4) 8	(3) 7	(2) 7	(3) 12	(1) 9	(3) 7	(1) 7	(27) 92

(注) ( ) は、精神保健診察件数で内数

## 5 業務の状況

### (1) 看護

#### ア 看護局の動向

看護局職員数と看護単位の別設置人員は(ア)のとおりである。

平成20年度から平成21年度にかけては、9月にA1棟とC1棟改修による病床数変更308床とした。その後以下のように機能変更に伴う改修工事が行われた。

C1棟：看護教育部門として使用

B1病棟：改修により精神科救急病床数24床とし、医療観察法病棟（みなと・みらい病棟）2床を22年2月に指定承認

21年度の看護局方針・看護局目標は以下を掲げ達成に向けて取り組んだ。

##### 〈看護局方針〉

患者様と共に、自立に向けてチャレンジします。

##### 〈看護局目標〉

- 1 患者様の尊厳と人権を尊重した関わりができる。
  - 1) 患者様の自己決定を支援する。
- 2 安全で安心な療養環境を整え、患者様と共に事故防止に努める。
  - 1) 静脈血栓肺塞栓の予防、誤嚥・窒息防止、転倒防止、誤薬防止、患者暴力への適切な対応、危険物の持ち込み防止など 医療事故防止、感染防止に努める。
  - 2) 医療安全推進室と連携・協力をする。
- 3 患者様の社会復帰と地域での生活を支援する。
  - 1) 入院から地域への復帰に向けて計画的に取り組む。
  - 2) 長期入院患者の社会復帰を支援する。
- 4 病院経営に寄与する。
  - 1) 入退院・転出転入をスムーズにし、効果・効率的な病床運用をする。
    - ① 医療局、地域医療相談室など、部門間で連携し、情報の共有と協力体制をもつ。
    - ② 行動制限最小化に継続的に取り組み、保護室・個室の回転をよくする。
- 5 精神科看護職員としての倫理観と専門能力を身につける。
  - 1) 医療観察医療やストレスケア医療などの新たな医療に関する知識や包括的暴力防止プログラム研修、静脈注射などの研修に、個々が主体的に参加する。
  - 2) キャリア形成過程をステップアップさせる。
  - 3) 患者様を尊重した関わりができる。

##### 〈看護目標の評価〉

- 1 患者様の尊厳と人権を尊重した関わりについて

各セクションにおいて、『患者参加型のカンファレンス、膝をつける看護、カウンター越しの対応をしない』などを計画し実施した。看護科長代理会議では「皆さんの声」からクレーム対応の情報を共有した。現任教育会議では接遇マナーについて検討、スクリーンセーバーで標語を流し意識づけを強化した。また、患者さんの自己決定を尊重した関わりや人権を尊重した関わりについて、セクション目標や委員会目標に挙げ、患者さんが望む自己像や

目標を尊重した関わりに努めた。自己決定できない患者さんには家族も含めたサポートを行うようにした。21年度患者満足度調査結果から、約7割の患者が看護師の対応に満足している結果が得られ、昨年度より上昇した。

- 2 事故防止についての取り組みは、KYTの導入や安全ラウンド、与薬ラウンドを行い、与薬関連の事故の減少が図られた。危険物の持ち込み防止に関しては、各病棟でそれぞれ取り組みを行ったが、その効果について報告書件数の減少がみられないなど、病棟によって差があった。活動については医療安全推進室と連携した取り組みを行い、事故報告書全体から評価すると、20年度と比較し、インシデント1,109件、アクシデント31件（レベル5は0件）の減少に繋がった。今後更なる事故防止の取り組みには、患者さんとともに取り組むことも必要である。また、昨年度作成した「誤飲・窒息」、「転倒・転落」などのアセスメントシートの活用と用紙の見直しを行い、リスク把握と事故防止に繋げていく工夫などが課題として残った。

感染防止について、環境感染対策部会、ICT会議において、インフルエンザやノロウィルスなどの研修会やタイムリーな情報交換を会議で行った。インフルエンザやノロウィルスの感染者は発生したが、2次発生はなく経過した。タイムリーな情報交換や研修などの効果によるものと考えられ、今後も継続していく。

- 3 社会復帰と地域での生活を支援について、多職種カンファレンスの必要性は定着してきた。実施率については急性期病棟と慢性期病棟では違いはあったが、必要に応じて計画的にカンファレンスするようになった。また外来では、退院前病棟訪問など入院中からの訪問を行うよう計画し、訪問看護の充実を図った。また、地域での生活が送れるよう多職種といかに連携をとるのか、件数を増やしていくことが重要な課題となった。今後も多職種とのカンファレンス時間の調整し、長期入院患者についてもあきらめず継続して関わって行くことが必要であり、課題として残った。

- 4 病院経営に寄与するについて、各病棟は数値目標を挙げ、効率的な病床運用を行った。当初、ベッドコントロール会議は救急病棟中心に行っていたが、全セクション参加の会議とし、患者情報の共有化を図った。また、行動制限評価検討会議では医師を交え検討を行い、各病棟では保護室・個室の回転をよくすることを目標に挙げ積極的に取り組みを行った。その結果、転棟が容易になり、B1病棟からB2病棟（B1病棟から転出の78%を占める）、B2病棟から一般病棟（B2病棟から転出の88%を占める）への流れができ、救急病棟に入院依頼があれば受けられる体制は整った。しかし、全ての患者の入院（転入）が受けられるかについては、一般病棟のマニパワーの問題や保護室・個室の回転状況の問題について、継続した課題として残った。

21年度占床率の目標85%に対し、入院依頼患者数の減少もあり目標達成には至らず、76.7%であった。

- 5 1) について、21年度の院内研修受講者は282名、院外研修・学会参加者は115名であり、看護職員ほぼ全員に学習の機会が得られた。また、自己研修など主体的な研修の参加率については把握していない。今後は自己研修も含めた報告の機会を設けていくとよい。

2) について、今年度キャリア形成ステップ評価を実施していないため評価できない。今後、自分が今何を学びキャリア形成が必要か、自己の目標を持ちながらステップアップされるよう、キャリア形成ラダーの意味と意義を確認していく必要がある。

3) について、各セクションにおいて取り組みをしたが、患者さんの考えが反映されているかなど、次年度はカンファレンス内容の充実も図っていくとよい。

ア) 病棟機能と看護職員配置 (H22. 4. 1 現在)

病 棟	病棟機能	病 床 数	看護職員定数	病棟技能員
看 護 局	看護局長		1	
	副看護局長		2	
看 護 教 育 科			1	
外 来			7	
A 2	ストレスケア病棟 開放病棟	37 保護室 1	17	2
A 3	総合治療病棟 閉鎖病棟	50 保護室 6 静養室 6	21	2
B 1 みなと・みらい	救急病棟 閉鎖病棟	26 保護室 14 静養室 4	27	2
	医療観察法病棟	2	3	
B 2	救急病棟 閉鎖病棟	34 保護室 6 静養室 5	22	2
B 3	医療介護病棟 (含重症認知症・結核) 閉鎖病棟	45 医療介護 (結核 2 床) 保護室 2 静養室 2	25	2
C 2	一般病棟 閉鎖病棟	60 保護室 3 静養室 2	18	2
C 3	一般病棟 (男子) 閉鎖病棟	56 保護室 3 静養室 3	18	2
デ イ ・ ケ ア			3	
地域医療相談室			4	
医療安全推進室			1	
合 計		308	167	14

※看護職員・病棟技能職員数は、臨時的任用職員・非常勤職員を含む。

(イ) 看護教育

a 平成21年度院内教育実施状況

	研修名	ね ら い	方 法	対 象	人数
オリエンテーション	採用時研修 ☆	・ 芹香病院の概要を理解し、組織・環境・業務への適応をはかる。 ・ 職員の一員としての自覚を促す。 ・ 専門職業人としての自覚を持てるようにする。	講義 演習 見学	新採用者・転入者	4名
役割・課題研修	接 遇 研 修 ☆	・ 接遇の実際を通して、専門職業人としての態度を身につける。	演習	新採用者 他全ステップ	4名
	チームメンバー研修	・ 病棟の看護業務を理解し、看護援助のありようが分かる。 ・ 自分の置かれている立場やお互いの問題を共有し、今後の方向性を見出す。		新採用者	4名
	プリセプター研修 I ☆	・ プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる。	講義	ステップⅢ・Ⅳ 平成21年度 プリセプター担当者	7名
	プリセプター研修 II ☆	・ 指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にすることが出来る。	グループワーク	ステップⅢ・Ⅳ プリセプター担当者	
	病棟目標推進研修	・ 病棟目標を達成する為の、問題解決への取り組みが積極的にできる。	講義 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	7名
	課題研修 看護科長代行研修	・ 看護科長代行者の役割をととして、管理的資質の向上を図る。	講義 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	8名
	主任研修 I	・ 主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。	講義	新主任者	8名
救急対応	救急蘇生法研修 I ☆	・ 看護者として必要な救急時の基礎的対応が分かる。	講義・演習 デモンストレーション	新採用者	3名
	救急蘇生法研修 II	・ 救急蘇生の実際を分散教育・教育研修会議主催の研修を受けることでさらに知識・技術を向上していくことができる。	講義・演習 デモンストレーション	ステップⅡ以上	27名
事例検討	看護過程の展開	・ 看護場面を振り返り一連の看護過程を展開することができる。	グループワーク	ステップⅠ	4名
	看護場面の再構成 ☆	・ 患者とのコミュニケーション場面を振り返り自分が患者に与える影響について理解し適切なコミュニケーション技術を学ぶ。	講義 グループワーク	ステップⅡ	
	根拠に基づいた看護実践 (EBN)	・ 事例を通して自己の看護を振り返り、精神科看護のポイントを学ぶ。	ケースカンファレンス 事例検討 ケーススタディ発表会	ステップⅢ・Ⅳ	4名
	事例検討Ⅳ チーム医療における実践	・ チームに及ぼす影響を認識し、人間関係の調整に努力ができる。	講義・演習 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	4名
精神看護	精神科看護技術研修	・ 精神科における特殊な看護技術の実際を学ぶ。	講義・演習	新採用者・転入者	4名
	コ ー チ ング ☆	・ 患者対応技術を高める。相手の能力や才能を引き出していく力を養う。	院外講師の講義	ステップⅡ以上	16名
	S S T 研 修 ☆	・ 患者の生活技能を高める為の理論と実際を学ぶ。	院外講師の講義・演習 グループワーク	ステップⅡ以上	12名
	包括的暴力防止プログラムの実際 (CVPPP)	・ 「包括的暴力防止プログラム」の構成要素を理解し、身体技術介入を身につける。	講義・演習	ステップⅡ以上	12名
	精神看護専門研修 (自主研修)	・ 精神看護領域における実践能力を高め質の高い看護を提供する為に必要な能力の向上を図る。	院外講師講義 グループワーク	ステップⅢ以上 精神科経験4年以上	11名
看護師が実施できる 静脈注射のための研修	① 静脈注射のガイドラインと法的根拠 ② 静脈注射に使用する薬剤の基礎知識 ③ 静脈注射の解剖生理・合併症 ④ 安全と事故防止 ⑤ 静脈注射の実際	講義 講義 講義 演習	全職員	20名	
講演等	看護研究計画発表会	・ 看護活動を通して得た研究成果を発表し相互の学びとする。	院外講師講評	全看護職員	57名
	看護研究発表会	・ 精神科看護の質の向上につなげることができる。			
	講演会 ☆	・ 精神科看護技術を高める。	院外講師の講義	全看護職員	12名
	シンポジウム	・ 自己研鑽の動機づけとする。 ・ 精神科看護の質の向上につなげることができる。	院外講師座長	全看護職員	59名
	伝達講習会	・ 院外研修の報告を受け、自己研鑽の動機づけとする。		全看護職員	35名
	病棟技能員研修	・ 患者の入院環境を整えるために、組織の中で効果的に役割を担い、患者サービスの向上を図る。	院内講師 講義・演習 グループワーク	全病棟技能員	14名

☆ せりがや病院と合同

b 看護職員講師派遣

	学 校 ・ 団 体 名	科 目	時 間
基礎教育	横浜市医師会看護専門学校	精神科看護学 精神障害と看護	10時間
	社会保険横浜看護専門学校	精神科看護方法論Ⅱ	16時間
	神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神科看護方法論Ⅱ	6時間
	神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神科看護方法論Ⅱ	12時間
継続教育	国立精神・神経センター精神保健研究所医学課程研修プログラム	精神科医療評価・均てん化研修	2時間
	保健福祉大学実践教育センター 認定看護師教育課程	看護管理	12時間

c 実習生の受入れ

	学 校 名	人数	実 施 月
実習	横浜市病院協会看護専門学校	30人	平成21年5月～11月
	横浜市医師会看護専門学校	41人	平成21年5月～11月
	社会保険横浜看護専門学校	35人	平成21年5月～12月
	聖母看護学校	25人	平成21年9月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	24人	平成21年5月～10月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	18人	平成21年5月～11月
	神奈川県立よこはま看護専門学校	82人	平成21年5月～11月
	神奈川県立保健福祉大学	47人	平成21年6月～12月

d 研修・見学実習等受入れ状況

学 校 ・ 団 体 名	対象者	人数	実 施 月
横浜市立芹が谷中学校	2年生	2人	平成21年2月
インターンシップ	看護学生・看護師	13人	平成21年7月～22年3月



平成20年度 病棟リハビリテーション実施状況

病棟 月	A3	B3	C2	C3
4月			お花見散歩	
5月		施設見学・食事会 (東戸塚移動ホール)	体力づくり散歩	カラオケ
6月	バスレク (森永製菓工場) 【B3 合同】	市内観光 (森永製菓工場) 【A3 合同】	カラオケ	市内めぐり
7月		七夕	七夕祭り	七夕・カラオケ
8月			盆踊り	盆踊り・すいか割り
9月		バスレク (市内観光) 【C2 合同】	バスレク (市内観光) 【B3 合同】	買物ツアー
10月	食事会		買物	大運動会
11月		紅葉狩り	バスレク (施設見学) (リエゾン笠間訪問の 家)	
12月	①食事会 ②クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会
1月		初詣 (寒川神社) 【C2・C3 合同】	初詣 (寒川神社) 【B3・C3 合同】	初詣 (寒川神社) 【B3・C2 合同】
2月	バスレク (市内観光)	節分	節分	
3月		ひな祭り	ひな祭り	

## (2) 作業療法 (OT)

### ア 作業療法

当院作業療法は、主に入院患者を対象としているが、平成17年度より外来患者も受け入れ、日常生活の回復を図り社会適応や自立を促すために様々な活動 (OTプログラム) を実施している。

ここ数年に見る参加患者の状態は、対人関係や作業能力等において療法士とマンツーマンによる密度の高い関わりを必要とする人、集団場面の適応能力が低い人、集中力・持続力に欠ける人、病棟から出てOTに参加することが難しい人などが増加している一方、3～6ヶ月で退院していく人も増えており、多様化してきている。そこでプログラムの改善を色々と試みている。例えば、病棟に作業療法士が赴いて行う病棟OTを平成15年度より順次A3、B3、C2、C3病棟で開始し、加えて平成20年度11月にはA2病棟で、今年度4月にはB2、2月にはB1病棟でも実施を始めた。

作業療法科では、安心していただける居場所の提供を基本に、患者の状態により参加プログラムや所属するグループを考慮し、長期ゴールを意識して治療に当たっている。

そのプログラム内容は主に、

- 社会復帰訓練を中心とした活動
- コミュニケーション及び自己表現力を高める活動
- 協同作業を中心とした活動
- レクリエーション活動
- ADL及びAPDL訓練を中心とした活動
- 体力の維持・向上を中心とした活動
- 生産的作業を中心とした活動
- 面接及び相談

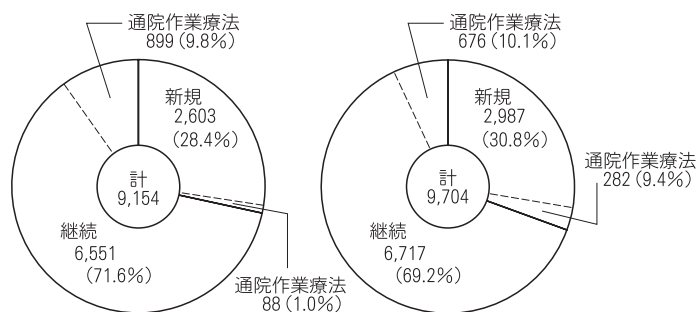
であり、その内容及び実績は次表の通りである。

### ア) 患者受入れ状況

#### a OT実施人員

(単位：人)

年度	区分		実 人 員					
			新 規		継 続		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
21	222		193		415			
	113	109	121	72	234	181		
20	203		140		343			
	108	95	90	50	198	145		
対前年度比 (%)	109.4		137.9		121.0			
	104.6	114.7	134.4	144.0	118.2	124.8		



#### b 月別男女別実施延人員

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		21	812	737	912	914	810	709	812	788	851	723	780	856	9,704														
20	749	692	835	775	766	668	787	650	785	776	842	829	9,154																
対前年度比 (%)	108.4		106.5		109.2		117.9		105.7		106.1		103.2		121.2		108.4		93.2		92.6		103.3		106.0				
	112.4	100.0	111.3	97.5	99.8	129.1	103.0	144.9	97.4	120.7	98.6	120.0	104.6	100.4	121.4	121.0	103.8	116.5	87.0	105.9	89.4	99.6	93.7	128.4	101.4	115.5			

#### c 月別男女別実施実人員

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
		21	197	197	208	203	202	194	185	197	191	195	199	198												
20	122	75	125	72	123	85	123	80	122	80	120	74	121	64	126	71	119	72	125	70	127	72	131	67		
対前年度比 (%)	123.1		123.1		118.2		120.1		118.8		113.5		106.3		103.1		93.6		96.5		94.8		97.1			
	203.3	125.0	120.2	128.6	108.8	134.9	112.8	133.3	115.1	125.0	112.1	115.6	115.2	92.8	108.6	94.7	93.7	93.5	99.2	96.5	97.7	90.0	100.8	90.5		

d 疾患別受け入れ状況

区分 年度	F 0	F 1	F 2	F 3	F 4	F 6	F 7	F 8	G 4	その他	計
	症状性を 含む器質 性精神障 害	精神作用物 質使用によ る精神およ び行動の障 害	統合失調 症	気分（感 情）障害	神経症性 障害	成人の人 格および 行動の障 害	精神遅滞	心理的発 達の障害	てんかん		
21	8	5	241	116	21	2	4	7	11	0	415
20	10	6	229	68	7	5	8	1	9	0	343
対前年度 比（%）	80.0	83.3	105.2	170.6	300.0	40.0	50.0	700.0	122.2	0.0	121.0

e 年齢別受け入れ状況

区分 年度	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計		平均年齢
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
21	4		43		91		101		83		93		415		47.4
	2	2	26	17	55	36	64	37	45	38	42	51	234	181	
20	5		31		73		78		78		78		343		48.0
	3	2	21	10	44	29	46	32	48	30	36	42	198	145	
対前年度 比（%）	80.0		138.7		124.7		129.5		106.4		119.2		121.0		
	66.7	100.0	123.8	170.0	125.0	124.1	139.1	115.6	93.8	126.7	116.7	121.4	118.2	124.8	

f 病棟別患者受け入れ状況

区分 年度	A 2		A 3		B 1		B 2		B 3		C 2		C 3	外来		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	男	女	男	女
21	124		53		10		22		48		61		52	45		415	
	61	63	35	18	6	4	8	14	14	34	31	30	52	27	18	234	181
20	69		69		5		25		46		46		56	27		343	
	38	31	46	23	4	1	15	10	3	43	21	25	56	15	12	198	145
対前年度 比（%）	179.8		76.8		200.0		88.0		104.3		132.6		92.9	166.7		121.0	
	160.5	203.2	76.1	78.3	150.0	400.0	53.3	140.0	466.7	79.1	147.6	120.0	92.9	180.0	150.0	118.2	124.8

(イ) 転 帰

区分 年度	継続	終												了	中断	計
		就 労	就 学	作 業 所	デイ ・ ケ ア	生保 健 教 室 所	家 庭 復 帰	施 設	ア 単 パ ー ト 身	転 院	ス テ ッ プ ア ッ ト	作 業 療 法 院	そ の 他			
21	196	1	1	8	10	0	127	26	5	19	8	3	0	11	219	
20	190	0	0	6	8	0	82	18	7	18	3	2	0	9	153	
対前年度 比（%）	103.2	—	—	133.3	125.0	—	154.9	144.4	71.4	105.6	266.7	150.0	—	122.2	143.1	

(ウ) プログラム内容及び実施状況

プログラム活動 (Program Activity)		件数	延人員	プログラム活動 (Program Activity)		件数	延人員
グループ ミーティング (含自己表現)	今月のOTについて (含、プログラム説明)	21	137	グループ ワーク その他	音楽及びビデオ鑑賞	18	156
	来月のOTについて (含、プログラム作り)	14	109		散歩 (含、初詣、花見、梅取、芋掘等)	6	47
	弥生会について	15	155		ゲーム	12	105
	喫茶かもめについて	0	0		季節行事 (含、新年会、豆まき、雛祭り、七夕、クリスマス会、仕事納め会等)	6	36
					その他		
					その他		
					その他		
					その他		
					その他		
					その他		
社会 復帰 訓練	職業前訓練	0	0	個人 プログラム 計	ネット手芸	182	548
	栄養講座	0	0		刺繍	167	703
	S.S.T (生活技能訓練)	39	296		革細工	157	381
	退院直前訓練	50	163		編み物	69	94
	歓迎会・送別会 (含、準備)	2	17		洋裁	68	78
	弥生会 (含、準備)	35	296		絵画	58	73
	喫茶室かもめ (含、準備)	0	0		刺し子	35	35
					紙細工	28	34
					小物作り	14	14
					読書	6	6
ADL 訓練	料理	0	0	個人 プログラム 計	スティック手芸	5	5
	掃除 (含、片付け)	18	109		段通	4	4
	環境整備、身辺処理	2	16		銅板細工	4	4
					籐細工	2	2
活身 体的 動作	体育	35	381	個人 プログラム 計	個人プログラム計	799	1,981
	体力づくり散歩	11	57				
活創 動作	あすなろグループワーク	88	709	個人 プログラム 計	総計	1,876	9,833
	ステップ I グループワーク	89	593				
病棟 O T	A-2	212	1,417	個人 プログラム 計			
	A-3	42	345				
	B-1	8	8				
	B-2	10	14				
	B-3	47	574				
	C-2	43	858				
	C-3	38	522				
フリース ペース	ものづくり	86	283	通院作業療法	面接 (含、退院直前訓練、アンケート)	20	21
	園芸	42	151		相談、及びアフターフォロー (含、家族面接)	49	49
	コーラス	39	74		病棟訪問	1	1
趣味・ 教養	書道	32	103				
	茶話会・誕生会	8	70				
	学習	1	6				

(エ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

（単位：人）

年 度	区 分	行政関係者	医療関係者	学 生 (医師・看護婦等)	院 内		そ の 他	計
					職 員	患 者		
21	件 数	2	6	69	13	13	10	113
	人 員	6	12	152	14	13	10	207
20	件 数	1	8	66	12	12	8	107
	人 員	15	14	123	14	12	8	186
対前年度比 (%)	件 数	200.0	75.0	104.5	108.3	108.3	125.0	105.6
	人 員	40.0	85.7	123.6	100.0	108.3	125.0	111.3

b 実習生の受入れ

内 容	対 象	実 施 日	人 数
作業療法 4年インターン実習	北里大学医療衛生学部作業療法学専攻	平成21年 4月6日～5月29日	1

### (3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあたっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、心理教育的プログラムを中心に集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど利用者の要望に応えられるよう多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設され、当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や高齢で体力のない方、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また、平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

更に、訪問支援の実施としては、作業所・生活訓練施設・授産施設などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。また、退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐でもあることから、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

## ア デイ・ケア参加者

### (ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (月平均)
在 籍 者 数		136	136	136	141	136	135	126	124	124	127	126	131	1,578 (131.5)
(うち入院)		6	6	6	12	9	6	6	7	5	6	5	15	89 (7.4)
(うち医療観察法通院者)		9	9	10	10	9	8	8	7	7	7	7	5	96 (8.0)
延	参加者延数	1,119	911	1,086	1,067	926	844	954	879	790	738	868	1,042	11,224 (935.3)
	(うち入院)	74	56	57	65	37	50	44	45	45	38	85	139	735 (61.3)
	(医療観察法通院者)	34	48	12	47	63	63	58	50	30	21	33	21	480 (40.0)
数	ショート延数	308	240	279	267	225	243	284	237	214	139	273	301	3,010 (250.8)
	(うち入院延数)	48	28	28	18	16	28	21	22	27	5	46	78	365 (30.4)
	就 労 延 数	143	122	194	174	117	88	150	112	146	153	144	229	1,772 (148.7)
	福祉施設等通所延数	210	195	220	233	233	214	243	186	199	251	231	281	2,696 (224.7)
一 日 平 均	参加者一日平均	53.3	50.6	49.4	48.5	44.1	44.4	45.4	46.3	41.6	38.8	45.7	47.4	555.4 (46.3)
	(うちショート)	14.7	13.3	12.7	12.1	10.7	12.8	13.5	12.5	11.3	7.3	14.4	13.7	148.9 (12.4)
	試験就労一日平均	6.8	6.8	8.8	7.9	5.6	4.6	7.1	5.9	7.7	8.1	7.6	10.4	87.2 (7.3)
	福祉施設等通所一日平均	10.0	10.8	10.0	10.6	11.1	11.3	11.6	9.8	10.5	13.2	12.2	12.8	133.7 (11.2)
実 施 日 数		21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	19	22	242 (20.2)

### (イ) 地域別参加者数

地域別 年度	横 浜 市															横 須 賀 市	鎌 倉 市	川 崎 市	相 模 原 市	藤 沢 市	そ の 他	合 計		
	鶴 見 区	西 区	中 区	南 区	港 南 区	保 土 ヶ 谷 区	旭 区	磯 子 区	港 北 区	戸 塚 区	栄 区	泉 区	神 奈 川 区	金 沢 区	緑 区	青 葉 区	小 計							
平成20年度	2	6	5	28	50	23	2	15	0	30	12	3	4	5	1	1	187	3	1	2	1	1	1	196
平成21年度	2	6	5	26	47	19	1	13	0	29	12	2	4	2	0	1	169	4	1	2	1	0	1	178

### (ウ) 年齢・病名別参加者数

病 名	年 齢			19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以上			計		
	性 別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
統 合 失 調 症 (F2)		2	0	2	22	10	32	40	23	63	27	12	39	14	7	21	105	52	157		
気 分 (感 情) 障 害 (F3)		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	3	1	4	5	1	6		
人 格 及 び 行 動 障 害 (F6)		0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2		
精 神 遅 滞 (F7)		0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	2	3		
そ の 他		0	0	0	1	2	3	2	3	5	0	1	1	1	0	1	4	6	10		
計		2	0	2	25	12	37	43	27	70	29	14	43	18	8	26	117	61	178		

## イ プログラム内容

プログラム		小計	内容・目的
神集 療団 法精	全体ミーティング	18	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(行事委員会)	10	行事事に委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小計	28	
訓職 業業 練前	作業	45	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労・作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	20	分担された係りを体験していく中で就労・作業所等への心構えや責任感を養っていく。
	就労勉強会	17	就労へのイメージ作り、就労の準備性を高める、現実的な目標を見出す。
	小計	82	
創 作 活 動	創作	21	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	7	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	物作りサークル	10	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	絵手紙	8	外部講師の指導により絵手紙作品を楽しみながら制作する。達成感を得る。
	お菓子づくり	11	お菓子作りを楽しむ。簡単な調理を経験する。
	思い出アルバム	7	外出や行事の写真の編集。役割分担をしながら実施しアレンジする。
	竹トンボ作り	1	外部講師の指導により竹トンボの制作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	布草履作り	1	外部講師の指導により布草履の製作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
小計	66		
指日 常生 活 導	料理	29	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	防災訓練	1	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	生活クラブ	9	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小計	39	
活 ク ラ ブ 動	グループ活動	10	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	58	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行う。
	曜日クラブ	66	全体で行いたいものを話し合い、実施する。
	小計	124	
運 動 療 法	バレーボール	41	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ヨガ	30	体力の維持、身体を動かすことの心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	ソフトボール	17	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ファイトクラブ	9	体力作り、メンバー間の親睦を図ること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む、準備交流試合)	14	大会などの目標に向けてチームワークを経験する。他施設との交流会の準備・実施を行う。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、自己の身体への意識を高める。
	小計	113	
音 楽 療 法	コーラス(含む、大会)	18	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	5	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	11	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	琴演奏	1	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
	小計	35	
認 心 行 動 教 育 法 他・	生活設計研究会	16	病気や薬、社会制度や経済的な知識を得、将来の生活の見通しを立てられるようになるための心理教育。
	シニアライフ	9	親亡き後や自分の老後をどのように過ごすか検討する心理教育。
	健康・栄養講座(健診含む)	10	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	生活技能訓練	18	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	10	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	10	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ。
	認知行動療法	9	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育。
	福祉講座・講演会	2	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	ダイエット	7	肥満の健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	社会人クラブ	7	社会生活する上での常識とされることやマナーの実際を学び役立てていく。
小計	98		
レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	パーティー(含む、準備)	25	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	6	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	芦香祭り・港南ネット祭り・デイケア作品展(含む、準備)	25	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	バスハイク(含む、準備)	3	社会性を養い、メンバーの親睦を図るため、1日のバスハイクを実施。
	ロードショー	10	興味関心のある映画等を選び準備、鑑賞していく。
	かき氷、すいか割り(含む、準備)	6	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	看護の日レク	2	看護の日イベント行事に参加し楽しむ。
小計	77		
そ の 他	ステップアップグループ	71	入所間もない方や活動性の低い方を対象に小集団で緩やかな内容のプログラムを展開。
	パソコン	41	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	14	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書道	9	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶道	11	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華道	11	生花店へ出掛け、花を購入し、外部講師の指導で活ける。年数回成果を発表。
	新人オリエンテーション	7	新入所者に対し、メンバーがデイケアの説明を行う。
	アロマセラピー	4	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	10	花や野菜などの植物を育てる事で季節感を得ながら、達成感を得る。
	お茶を楽しむ	5	お茶を飲みながらスタッフ・メンバーでリラックスする時間を過ごす。
	メイクアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	9	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
小計	193		
合 計	855		

## ウ 転 帰

(単位：人)

性別	転帰 中 断	終 了			D C 延長	6ヶ月未満	計
		自 立	半 自 立	家庭内適応			
男	19	6	9	3	69	11	117
女	8	3	4	1	36	9	61
計	27	9	13	4	105	20	178

「中 断」…病状悪化、入院している者

「自 立」…自己就労、保護就労、就学、家事労働についている者

「半 自 立」…地域作業所、保健所生活教室、他機関デイ・ケア等への通所者

「家庭内適応」…家事手伝い等を行っている者

「D C 延長」…終了の条件が整わず延長を行い、平成22年3月31日現在通院している者

「6ヶ月未満」…期間（6ヶ月）が終了しておらず、平成22年3月31日現在通院している者

## エ 個別支援

### (ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退 所 者	参加希望者	その他関係機関など
電 話	29	31	5	—	56
面 接	480	95	33	—	19
見 学	27	6	—	—	29

### (イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	3
-----------	---

### (ウ) カンファレンス（医療観察法会議含む）

科 内	科 外
2,002 件	72 件

## オ 家族会

開催月	テ ー マ	開催数	参加者数
4月	個別懇談・親子面接	4回	22名
5月			
6月	「地域で利用できるサービスについて」 講師 港南区役所 高橋MSW	1回	8名
7月	ピエロボランティア	1回	3名
8月	お休み		
9月	座談会 ご家族同士のお話し合い	1回	6名
10月	個別懇談・親子面接	4回	28名
11月			
12月	お休み		
1月	施設見学 生活訓練施設「ゆかり荘」	1回	4名
2月	家族講座「医師からの病気の話」	1回	14名
	講演会「家族SST」について 講師 片柳光昭先生	1回	9名
3月	座談会 ご家族同士のお話し合い	1回	12名
合 計		15回	106名



## カ 教 育

### (ア) 研修・見学

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	そ の 他	合 計
研 修	31	23	0	0	54
見 学	39	1	3	0	43

## (4) 検査業務

### ア 心理業務

心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補うためや、パーソナリティーの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施している。心理療法は患者と1対1で対話を重ねることにより、必要な心理的ケアや支えを提供するもので対話以外の技法を用いることもある。このうち、心神喪失者等医療観察法の鑑定に関わる心理検査は4件、通院処遇対象者への心理面接は5件であった。せりがや病院の心理検査業務は16件であった。

SST（生活技能訓練）運営に関わる業務では、研修会（7月25日、7月26日実施）の事務局を担当した。

ストレスケア病棟では、心理検査、個別面接の実施のほか、OTなどのコメディカルと連携し、CBTなどの集団精神療法、作業療法の運営・実施を行った。今年度より、rTMSが本格的に開始され、研究に伴う心理検査を36名に実施した。さらに入院患者の退院後のフォローアップとして外来でのCBT、22年度から開始するリワークの導入面接などの外来作業療法にも参加している。また、医療観察法小規模病棟が開棟したため、心理面接、プログラム、チーム会議にも参加した。

### (ア) 心理検査（21年度）

(単位：人)

検 査 名		外 来	入院(A2病棟)	入院(他の病棟)	計
知 能 検 査	W A I S - R	13	14	12	39
	W A I S - III	3	29	9	41
	田 中 ビ ネ ー 等	2	0	2	4
人 格 ・ 性 格 検 査	ロ ー ル シ ャ ッ ハ	2	12	8	22
	S C T	2	13	5	20
	描 画	43	11	58	112
	T E G	1	9	0	10
	M M P I 等	0	5	2	7
そ の 他	M M S H D S - R 等	5	10	13	28
	H A M - D	0	125	0	125
	S C I D	0	20	0	20
	B D I	0	135	0	135
	W C S T	0	53	0	53
	そ の 他	1	19	1	21
計		72 (26)	455 (74)	110 (32)	637 (132)

(注) 計欄の( )は実人数を示す

### (イ) 心理療法（21年度）

	外 来	入院(A2病棟)	入院(医療観察法病棟)	入院(他の病棟)	計
実 人 数	18	6	2	5	31
延 人 数	196	23	10	42	271

ウ) その他 (21年度)

A2病棟 集団精神療法・作業療法プログラム (CBT など) への参加	117回
外来作業療法 (外来CBT・リワーク導入面接) への参加	35回
医療観察法病棟 多職種チーム会議への参加	21回
通院処遇 個別多職種チーム会議等への参加	70回
水曜SSTへの参加 (打合せを含む)	16回

イ 放射線業務

検査科放射線は芹香・せりがや両病院のX線検査及びCT検査を行っています。平成18年度より、せりがや病院の入院患者様を毎週月・木曜日に芹香病院へ搬送し、外来患者様は随時芹香病院で検査を行っています。

a 芹香病院

検査は入院患者様の撮影が主です。本年度は入院患者の減少と共にやや一般撮影人数が減り、CT検査人数は微増でしたが、ほぼ横這い状態です。

b せりがや病院

外来・入院患者数の微増があり、一般撮影人数・CT検査人数も微増しました。一般撮影で延べ回数が飛躍的に伸びているのは、医師の交替で胸部2方向撮影の増加によるものです。

ア) 一般撮影業務件数 (人数及び撮影回数)

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四 肢 骨				そ の 他				合 計				
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		
	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	
H21.4		1		2	4	67	4	77	2	32	2	48		2		4		4		11		4		8	6	110	6	150	
5					7	65	7	91		34		49		1		6		5		11		7		11	7	112	7	168	
6		3		6	14	83	14	118	12	52	12	76		2		4	1	9	2	21		3		4	27	152	28	229	
7					7	63	7	74	1	37	1	51						10		22		1		4	8	111	8	151	
8		2		3	10	77	10	90	3	54	3	75						3		6		1		1	13	137	13	175	
9					5	62	5	75	2	54	2	76						7		14		5		10	7	128	7	175	
10		1		2	9	68	9	88	3	50	3	71						5		9		5		9	12	129	12	179	
11					9	66	9	77	7	51	7	70						6		14		1		2	16	124	16	163	
12		2		5	7	51	7	57	4	33	4	42		2		4		1		2		5		11	11	94	11	121	
H22.1					6	61	6	72	2	37	2	53						4		11		2		3	8	104	8	139	
2					10	55	10	63	9	43	10	56		2		4	2	3	4	8		1	1	2	2	22	104	26	133
3					3	65	3	76	2	36	2	46						1		2		2		4	6	105	7	130	
合計	0	9	0	18	91	783	91	958	47	513	48	713	0	9	0	22	4	59	8	133	1	37	2	69	143	1,410	149	1,913	
構成比(%)	0.0	0.6	0.0	0.9	5.9	50.4	4.4	46.5	3.0	33.0	2.3	34.6	0.0	0.6	0.0	1.1	0.3	3.8	0.4	6.5	0.1	2.4	0.1	3.3	9.2	90.8	7.2	92.8	

b セリがや病院

月	頭 部		胸 部		腹 部		椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計	
	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	
H21.4			29	31	2	3			2	4					33	38	
5			20	22											20	22	
6			25	28											25	28	
7	1	1	33	36	3	3	1	1					1	2	39	43	
8			25	30	2	3									27	33	
9			19	23	1	1	2	4							22	28	
10			35	42	5	8	1	2							41	52	
11			37	40									1	3	38	43	
12			19	20	1	2									20	22	
H22.1			35	45	5	7			3	6	1	2			44	60	
2			27	40			2	4	2	4	2	3			33	51	
3			33	43	2	4	1	2	3	8	2	3			41	60	
合 計	1	1	337	400	21	31	7	13	10	22	7	13			383	480	
構成比(%)	0.3	0.2	88.0	83.3	5.5	6.5	1.8	2.7	2.6	4.6	1.8	2.7			100.0	100.0	

(イ) C T検査業務件数

a 芹香病院

月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計		
	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数	人 数	スライス数	画像数
H21.4	40	817	858	3	126	219	1	45	45										44	988	1,122
5	40	806	826	6	329	507	3	164	161	1	51	52							50	1,350	1,546
6	55	1,126	1,330	3	173	304	2	26	26	1	22	22	1	47	60				62	1,394	1,742
7	51	1,029	1,138	3	152	252													54	1,181	1,390
8	55	1,118	1,215	4	266	355	1	36	36										60	1,420	1,606
9	43	911	1,065	3	143	237	3	110	110										49	1,164	1,412
10	46	935	1,035	4	290	415	1	45	48	1	23	24							52	1,293	1,522
11	41	878	1,058	1	51	74	2	87	104										44	1,016	1,236
12	37	768	896	2	88	156	3	158	186										42	1,014	1,238
H22.1	47	967	1,049	3	150	250	2	136	136	1	61	121							53	1,314	1,556
2	55	1,129	1,221	3	190	286	2	151	174										60	1,470	1,681
3	52	1,054	1,088	4	189	315	2	103	104				1	38	36				59	1,384	1,543
合 計	562	11,538	12,779	39	2,147	3,370	22	1,061	1,130	4	157	219	2	85	96	0	0	0	629	14,988	17,594
構成比(%)	89.3	77.0	72.6	6.2	14.3	19.2	3.5	7.1	6.4	0.6	1.0	1.2	0.3	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H21.4	30	605	625	2	69	137	1	34	34										33	708	796
5	17	344	364																17	344	364
6	23	473	513	1	54	87													24	527	600
7	30	600	600																30	600	600
8	23	462	462																23	462	462
9	24	490	580	4	154	284	1	30	30										29	674	894
10	31	630	656	1	47	82	1	44	60										33	721	798
11	37	751	777	1	34	67	1	54	60										39	839	904
12	20	418	511																20	418	511
H22.1	29	586	626	1	33	99	1	30	60										31	649	785
2	26	522	522																26	522	522
3	29	593	620	2	97	157	3	136	159										34	826	936
合 計	319	6,474	6,856	12	488	913	8	328	403	0	0	0	0	0	0	0	0	0	339	7,290	8,172
構成比(%)	94.1	88.8	83.9	3.5	6.7	11.2	2.4	4.5	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	1,213	1,340	1,451	1,299	1,326	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	1,553	94.5
	延べ回数	1,729	1,994	1,936	1,709	1,649	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	2,062	98.0
せりがや病院	延べ人数	688	519	473	474	420	393	353	384	350	329	383	116.4
	延べ回数	1,138	876	827	782	544	505	421	400	373	350	480	137.1
合 計	延べ人数	1,901	1,859	1,924	1,773	1,746	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	98.2
	延べ回数	2,867	2,870	2,763	2,491	2,193	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	103.5

(エ) CT検査業務件数推移

		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	161	213	178	150	197	463	518	625	487	615	629	102.3
	延べ回数	2,033	2,706	2,162	1,844	2,471	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	14,988	108.3
	画像処理	2,266	2,864	2,209	1,892	2,605	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	17,594	112.2
せりがや病院	延べ人数	527	474	454	470	373	381	318	374	322	322	339	105.3
	延べ回数	6,404	5,802	5,492	5,650	4,505	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	7,290	107.3
	画像処理	6,529	5,909	5,590	5,670	4,542	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	8,172	111.9
合 計	延べ人数	688	687	632	620	570	844	836	999	809	937	968	103.3
	延べ回数	8,437	8,508	7,654	7,494	6,976	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	22,278	108.0
	画像処理	8,795	8,773	7,799	7,562	7,147	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	25,766	112.1

## ウ 臨床検査業務

### a 芹香病院

項目 \ 件数	平成 21 年度	平成 20 年度	増 減
一 般 検 査	21,169 件	34,730 件	▲ 13,561 件
血液学的検査	18,760	14,095	4,665
生化学的検査	56,119	56,220	▲ 101
免疫学的検査	3,145	3,632	▲ 487
微生物学的検査	602	322	280
病理学的検査	6	1	5
内分泌学的検査	1,355	1,182	173
生理機能検査	1,199	816	383
その他の検査	0	0	0
計	102,355	110,998	▲ 8,643

### b セリがや病院

項目 \ 件数	平成 21 年度	平成 20 年度	増 減
一 般 検 査	5,599 件	13,190 件	▲ 7,591 件
血液学的検査	9,077	7,496	1,581
生化学的検査	31,186	25,430	5,756
免疫学的検査	1,564	1,614	▲ 50
微生物学的検査	48	38	10
病理学的検査	0	0	5
内分泌学的検査	296	80	216
生理機能検査	441	534	▲ 93
その他の検査	0	0	0
計	48,211	48,382	▲ 171

## (5) 地域医療相談室業務

平成17年度から地域支援を視野に入れ、「地域医療相談室」と名称を変更した。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族とのラポール作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

救急医療については平成15年度にB1病棟が26床（現在は24床）の救急病棟として整備され、そのうち12床が神奈川県の基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。残りの14床が院内救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などを関わっている。

平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴い、平成20年3月にA1病棟（認知症病棟）とC1病棟（一般開放病棟）が閉棟した。

平成17年度から施行された医療観察法における指定医療機関として、通院医療および鑑定入院、特例措置入院を受け

入れているが、観察担当者（兼任）が1名配置されて対応している。また、平成22年2月には救急病棟に2床の小規格病棟を開設されたので、入院処遇の対象者にも対応している（ウで再掲）。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟（A2）病棟が開棟し、病棟担当者（専任）が1名配置されて対応している。

平成15年度から実施された訪問看護の充実を図るために、18年度から訪問看護スタッフが4名配置された（イで再掲）。

家族に対する支援としては病院家族会（20年度で解散）への協力、家族講座を実施している。また、病棟ごとの家族懇談会にも協力をしている。地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、横浜市退院促進支援事業協議会、区の各種ネットワーク会議等に参加している。また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催し、連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

## ア ソーシャルワーク業務

### ア) 内容別相談件数

{ } は医療観察、( ) はストレス、< > は救急を再掲

内 容	平成21年度			平成20年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談・調整	3,754	707	4,461	1,788 { 236} ( 623) < 163>
経済関係 (32条申請、生活保護、年金、手当等)	954	2,471	3,425	2,794 { 182} ( 45) < 332>
治療生活に関すること (ケースワーク、家族調整他)	1,598	3,885	5,483	5,694 { 355} ( 250) < 545>
社会復帰に関すること (退院、施設他)	1,140	2,979	4,119	3,399 { 179} ( 174) < 19>
仕事に関すること	419	1,394	1,813	274 { 80} ( 309) < 18>
転院に関すること	317	417	734	708 { 31} ( 62) < 321>
権利に関すること	87	173	260	21年度より統計
院内及び院外関係機関との連絡調整、 その他	5,429	6,679	12,108	14,231 { 376} ( 245) < 1,586>
計	13,698 {1,489} ( 91) < 243>	18,705 { 278} ( 266) < 2,132>	32,403 {1,767} ( 357) < 2,375>	28,891 {1,439} ( 1,708) < 2,984>

## (イ) 実施方法別相談件数

{ }は医療観察、( )はストレス、&lt; &gt;は救急を再掲

内 容	平成 21 年度			平成20年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接（患者、家族、院内外関係者等）	3,399	6,850	10,249	10,199 { 270} ( 667) <1,055>
電 話	6,681	9,162	15,843	13,821 { 294} ( 743) <1,686>
文 書（訪問依頼表、カルテ調べ等）	679	843	1,522	2,234 { 139} ( 89) < 136>
訪 問（保健所、役所、作業所、家庭等）	278	275	553	1,389 { 357} ( 56) < 24>
カンファレンス	2,661	1,575	4,236	1,248 { 379} ( 103) < 83>
合 計	13,698	18,705	32,403	28,891 {1,439} ( 1,658) <2,984>

## (ウ) 被相談者別相談件数

{ }は医療観察、( )はストレス、&lt; &gt;は救急を再掲

内 容	平成 21 年度			平成20年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	3,064	5,613	8,677	7,027 { 305} ( 699) < 470>
家 族	2,537	4,417	6,954	7,011 { 242} ( 632) < 639>
院内関係者	4,078	7,455	11,533	7,432 { 296} ( 96) < 886>
院外関係者（保健所、福祉事務所等）	4,537	6,577	11,114	7,147 { 262} ( 153) < 890>
その他（職場、後見人、民生委員等）	55	90	145	274 { 334} ( 78) < 99>
計	14,271	24,152	38,423	28,891 {1,439} ( 1,658) <2,984>

## イ 訪問看護業務

訪問看護は、地域医療相談室に所属する専任の看護師4名、ソーシャルワーカー8名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し業務を実施している。訪問看護件数は年々増加し、この中には医療観察法対象の患者も含まれている。

交通手段としては3台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通、タクシー（原則ワンメーター以内）を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が各訪問先の駐車許可証に変更となり、総務課と協力し許可証を取得した。訪問先は当院近隣の他、青葉区、港北区、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、小田原市と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性和と實際を学ぶ場を提供している。

また、県や市の職員の研修にも組み込み、必要性和と協力を依頼している。

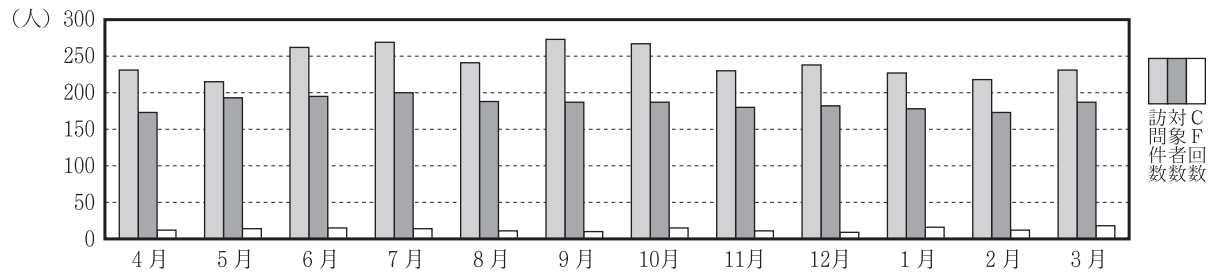
訪問看護運営会議では、地域医療相談室と他部門との連携を図り、訪問看護の質の向上に努めた。また、学習会を行い、訪問看護及び地域支援の理解普及に努めた。

(ア) 平成15年度から平成21年度までの年間訪問看護件数

年度	15	16	17	18	19	20	21
件数	342	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903

(イ) 平成21年度月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	231	215	263	269	241	273	267	230	238	227	218	231	2,903
対象者数	173	193	195	200	188	187	187	180	182	178	173	187	2,223
C F回数	12	14	15	14	11	10	15	11	9	16	12	18	157



(ウ) 平成21年度病診療報酬別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪問 I	217	198	243	251	229	259	256	226	225	219	211	221	2,755
訪問 II	1	8	2	0	4	5	4	4	4	4	3	5	44
退院前訪問	13	9	18	18	8	9	7	0	9	4	4	5	104
合計	231	215	263	269	241	273	267	230	238	227	218	231	2,903

(エ) 平成21年度月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	5	3	6	1	4	3	3	1	4	6	48

(オ) 平成21年度病棟別新規申し込み件数

外来	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	合計
20	2	4	4	15	2	1	0	48

(カ) 平成21年度終了ケース

目標達成	施設利用	転院	入院	中絶・拒絶	死亡	その他	合計
15	2	0	0	4	5	1	27

(キ) 平成21年度疾患別分類

疾患名	統合失調症 (他疾患の 合併含む)	中毒性精神 障害(薬物・ア ルコール含む)	躁鬱	知的障害	人格障害	強迫性傷害	認知症	うつ病	その他	合計
人数	148	8	4	3	1	2	2	4	5	177



(ク) 平成21年度地域別分類

横浜市

地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	保土ヶ谷区	栄区	緑区	神奈川区	金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合計
人数	34	51	7	19	7	7	14	5	1	3	3	4	2	4	1	1	1	164

県域

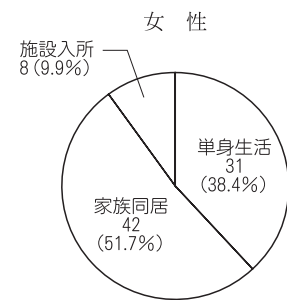
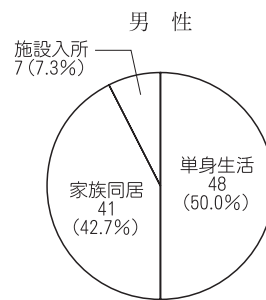
地域	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	合計
人数	5	2	1	2	1	1	1	13

(ケ) 年齢別区分（平成22年3月現在）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
11	28	51	37	36	10	4	177

(コ) 平成21年度男女・住居別分類

区分	男性	女性
単身生活	48	31
家族同居	41	42
施設入所	7	8
合計	96	81



(セ) 平成21年度学習会状況

訪問運営会議	内 容
① 平成21年5月26日	退院前訪問看護の充実に向けて
② 平成21年7月28日	退院前訪問看護の案内作成
③ 平成21年9月29日	訪問看護の効果を高める社会資源についての学習
④ 平成21年11月24日	医療観察法についての学習

ウ 医療観察制度の取組み

H17年7月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院ではその内、全体を統括する通院運営会議（月に1回）、救急病棟であるB1病棟での鑑定入院ならびに小規模病棟における入院処遇、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を提供している。通院医療ではチーム会議（月に1回）の開催や保護観察所主催のケア会議への参加も行なっている。地域医療相談室に医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察も受け入れている。今年度からの小規模病棟開棟に向けた見学および実地研修も行なった。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）を実施している。

## 研修等

研 修	病棟全体研修	平成21年1月7日～28日
視 察	東京都立松沢病院	平成21年12月4日
	茨城県立友部病院	平成22年3月9日
ネットワーク (開催場所)	久里浜アルコール症センター 愛光病院 横浜保護観察所	平成21年7月17日 11月17日 平成22年1月19日
調整官受入	社会復帰調整官実務実習	平成21年11月16日～24日
先進地見学	岡山県精神科医療センター	平成21年10月19日～20日
実地研修	久里浜アルコール症センター	平成21年11月9日～13日
	国立精神・神経センター病院	平成21年12月7日～16日

## エ 家族講座

内 容	実 施 日	参加人数
①統合失調症とその治療（医師） ②生活援助のかかわり（看護師） ③訪問看護（訪問看護師）	平成22年2月3日	31名
①作業療法、デイケア見学・説明 ②地域で安心して暮らすために（ソーシャルワーカー） ③当事者の話	平成22年2月10日	15名

## オ 実習生受入

内 容	実 施 日	人 数
上智社会福祉専門学校	平成21年7月1日～7月16日	1名
桜美林大学	平成21年8月7日～8月24日	1名
県立保健福祉大学	平成21年8月19日～9月18日	2名
アルファ福祉専門学校	平成21年10月23日～12月2日	1名
県立保健福祉大学	平成21年10月15日	15名

## カ 現任者の研修・見学受入

内 容	実 施 日	人 数
神奈川県立精神保健福祉新任研修	平成21年6月15日～17日	12名
横浜市精神保健新任担当者研修	平成21年7月17日	10名
港南区人権啓発研修	平成21年7月22日	8名
横浜市精神障害者地域生活支援団体連合会	平成21年9月17日・18日	11名
神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会	平成21年12月4日	28名

## キ 講師派遣

場 所	内 容	実 施 日
南区生活支援センター	港南区合同家族講座	平成21年2月12日・18日・28日・3月12日
磯子区生活支援センター	磯子区・生活支援センター合同研修	平成21年4月14日
こころの健康相談センター	横浜市精神保健担当者連絡会議	平成21年4月27日
栄区生活支援センター	栄区・生活支援センター合同研修	平成21年5月11日
曽我病院	医療観察法・指定通院医療機関について	平成21年5月13日
精神保健福祉センター	神奈川県精神保健福祉センター家族講座	平成21年5月15日
栄区生活支援センター	栄区・生活支援センター合同うつ講座	平成21年6月6日
磯子区生活支援センター	磯子区・生活支援センター合同家族講座	平成21年7月2日
城山総合事務所・学習研修室	相模原市うつ研修	平成21年7月11日
港南区公会堂	港南区・生活支援センター共催講演会	平成21年8月2日
神奈川県立保健福祉大学	ソーシャルワーク実習指導 I	平成21年10月9日
代々木ビジネスセンター	指定医療機関従事者研修会	平成21年10月24日
恵友会勉強会	医療観察法を学ぶ	平成21年10月27日
実践教育センター	神奈川県相談支援従事者現任研修	平成21年11月5日・6日
ウィリング横浜	港南区・生活支援センター共催うつ講座	平成21年11月13日
大阪天満研修センター	指定医療機関従事者研修会	平成21年11月14日
ウィリング横浜	港南区・生活支援センター共催うつ家族講座	平成21年11月27日
代々木研修室	うつの家族会みなと講演会	平成21年12月5日
港南区役所・別館	港南区包括連絡会議	平成22年1月19日
横浜市研修センター	医療ソーシャルワーカー業務研修	平成22年2月5日・16日

## (6) 薬剤業務

調剤業務では、年間調剤数は入院104,286件、外来103,916件、合計208,202件である。一日平均調剤数は860.3件、一日平均処方せん枚数は256.1枚となっている。院外処方せんの発行枚数は、1,134枚で、発行率としては4.19%であった。

薬剤情報提供業務(外来)は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行うこととした。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定し20,493件だった。

薬剤管理指導業務(入院)は、指導実患者数延べ13人、指導回数延べ21回実施した。そのうち退院時指導は6件だった。

製剤業務では、製剤品目21品目で、そのうち約束処方4品目である。錠剤の散剤化製剤は15品目(30,740錠)調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続き調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成19年度が58件、平成20年度が35件、平成21年度は41件だった。

薬品管理業務では、購入薬品数は702品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、88.4%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、11.6%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、6月、10月、12月、2月の4回開催した。新規採用医薬品16品目、緊急購入医薬品32品目、削除医薬品

5品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」(DIニュース)を14回発行した。

オーダーリングシステムが平成21年12月から導入された。手書き処方箋と比較して照会件数が減少し、外来患者さんの待ち時間の短縮に繋がった。

#### A 平成21年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延 べ 剤 数	1 日 平 均	
				剤 数	延 べ 剤 数
入 院	36,030 枚	104,286 件	608,354 剤	430.9 件	2,513.9 剤
外 来	25,944	103,916	2,263,608	429.4	9,353.8
計	61,974	208,202	2,871,962	860.3	11,867.6

#### B 平成21年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
3,979 枚	8,834 本	2,956 本	11,790 本

#### C 平成21年度製剤数

内 用 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
12,384 g	274,000 ml	0 ml	0 g	30,740 錠

#### D 平成21年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	74 品	10.5 %	13,302,434 円	3.8 %
内 服	561	79.9	331,755,494	95.7
外 用	61	8.7	1,359,268	0.4
消 毒 液	6	0.9	72,712	0.1
計	702	100.0	346,489,908	100.0

#### E 平成21年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	212 品	30.2 %	269,413,957 円	77.8 %
抗 て ん かん 剤	30	4.3	10,481,860	3.0
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	18	2.6	7,137,132	2.1
睡 眠 鎮 静 剤 ・ 抗 不 安 剤	69	9.8	19,057,867	5.5
循 環 器 官 用 薬	55	7.8	4,895,784	1.4
消 化 器 官 用 薬	60	8.5	12,644,521	3.6
そ の 他 の 薬 剤	258	36.8	22,858,787	6.6
計	702	100.0	346,489,908	100.0

## (7) 医療教育

### ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院			1				2					1
厚木市立厚木病院		1	1	1	1	1						
国際親善総合病院						1	1					

平成21年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

### イ 講師派遣

派遣先
横浜市立大学医学部
北里大学
横浜創英短期大学
横浜労災病院

### ウ 研修受入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	4～5人	毎週火曜日（見学実習）

## (8) 栄養管理科業務

栄養管理科の業務は、患者一人一人にあった栄養管理を行い、安全・安心なより良い治療環境に寄与し、自立支援へとつながることを目的としている。

本年度は、4月に栄養給食システムを新しく入れ替え6月から本格的に実施。これにより食数管理および厨房への調理指示が改善され、効率化が図られた。さらに12月には病院にオーダーリングシステムが導入され「栄養給食システム」は部門システムとなり、患者情報が迅速に入手可能となった。

NSTは、「病棟栄養カンファレンス」という名称で、病棟毎に栄養管理上の課題をもつ患者を個別に継続検討している。さらに個別結果を集約して栄養管理検討部会（毎月開催）に報告・検討し、病棟にフィードバックしているが、この各病棟栄養カンファレンスにおいても、オーダーリングシステムの利用で事前に情報入手可能となり、より適切な検討につながった。

### ア 給食実施状況

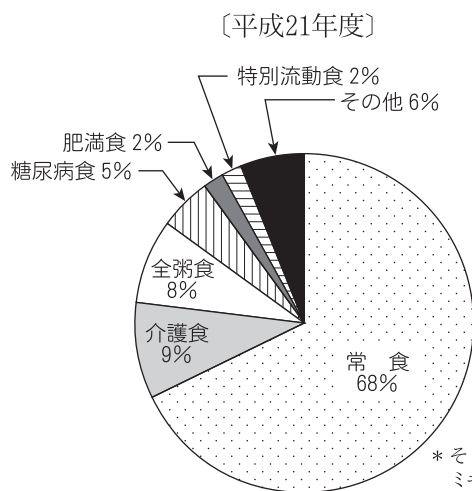
給食提供数は、許可病床数308床と変更され、入院患者総数およびデイ・ケアが減少したことにより、給食数も比例して対前年度比94%（一日平均775食）であった。なかでもデイ・ケア（ロング）利用者の減少に伴い提供する食数の減少（83.8%）が大きい。

食種構成比は、病院組織の構成変更（急性期救急病棟の増加）により、介護食・全粥食・糖尿病食・肥満食がわずかだが減少している。全体の構成比の変化はわずかだが、慢性期病棟と急性期病棟の食事提供内容の差が大きく、急性期救急病棟は常食および全粥食で81%を占め、慢性期病棟は常食および全粥食が55%で介護食・特別食のほか特別流動食やその他に含まれる食種が45%を占める。

形態別では昨年と同様「一口大」「小さい一口大」が毎食平均16食あり、すべての食種に形態変化を求められている。NST活動により一人一人に適した食形態を選択し、嚥下・咀嚼の対応だけでなく、精神科特有の「噛まずに飲み込まずに、口に詰め込む」対応でもある。また、「介護食」が減少したことも、看護の力とNST活動の効果である。

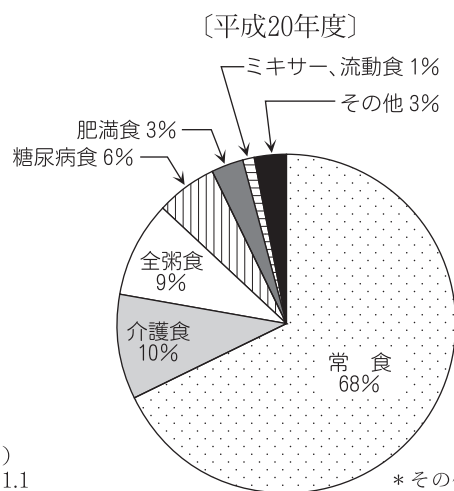
区 分		年 度	21年度	20年度	対前年度比 (%)
一 般 食	常 食		167,635	176,936	94.7
	軟 流 動 食	全 粥 食	20,607	23,204	88.8
		介 護 食	23,050	26,645	86.5
		ミ キ サ ー 食	2,639	3,397	77.7
		流 動 食	92	272	33.8
		小 計	46,388	53,518	86.7
	計	214,023	230,454	92.9	
特 別 食	加 算 で き る も の	腎 炎 食	2,128	1,277	166.6
		心 臓 病 食	422	207	203.9
		肝 臓 病 食	0	10	—
		糖 尿 病 食	11,540	15,471	74.6
		脾 臓 病 食	0	0	—
		ネ フ ロ ー ゼ 食	0	0	—
		潰 瘍 食	44	674	6.5
		貧 血 食	912	9	10,133.3
		脂 質 代 謝 異 常 症	1,877	2,424	77.4
		肥 満 食	3,186	2,811	113.3
	通 風 食	0	0	—	
		小 計	20,109	22,883	87.9
	加 算 で き な い も の	肥 満 食	2,114	3,637	58.1
		高 血 圧 食	2,344	1,688	138.9
		貧 血 食	0	0	—
		特 別 流 動 食	4,632	1,044	443.7
		脂 質 代 謝 異 常 症	0	184	—
		低 残 渣 食	1,372	534	256.9
		ソ フ ト 食	1,575	708	222.5
			小 計	12,037	7,795
	計	32,146	30,678	104.8	
合 計			246,169	261,132	94.3
院 外 作 業 食 ・ 病 棟 レ ク 食			(317)	(319)	99.4
デ イ ・ ケ ア			7,327	8,744	83.8
検 食 ・ 保 存 食			2,190	2,190	100.0
職 員 食 ( 実 習 生 )			27,035 (204)	28,565 (641)	94.6 (31.8)
総 合 計			282,721	300,631	94.0

\*院外作業食、病棟レク食（ ）は再掲 \*職員食（ ）は実習生で内数



\*その他の内訳 (%)

ミキサー、流動食	1.1
高 血 圧 食	1.0
腎 炎 食	1.0
脂 質 代 謝 異 常 症	0.9
ソ フ ト 食	0.7
低 残 渣 食	0.7
貧 血 食	0.4
心 臓 病 食	0.2



\*その他の内訳 (%)

脂 質 代 謝 異 常 症	1.0
高 血 圧 食	0.6
腎 炎 食	0.4
特 別 流 動 食	0.4
ソ フ ト 食	0.2
潰 瘍 食	0.2
低 残 渣 食	0.2

## イ 個人栄養管理計画書作成状況

病棟	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	計
新規作成件数※	199	131	944	569	62	88	71	2,064
カンファレンス経過観察対象件数	30	15	10	19	35	23	24	156

※B3病棟、C2病棟、C3病棟は同一患者を継続観察しているため対象件数としては少ない。

## ウ 栄養指導

本年度も、作業療法科との共催である「就職前栄養講座」は対象者「0」のため開催できず集団指導が少ない。デイ・ケア対象の集団指導は重要なプログラムで毎回好評である。個別指導は増加し、主な内容は肥満症、糖尿病、脂質代謝異常症である。今年度は継続指導で同一患者を2カ月ごとに指導している症例が多い。

区分 年度	入院				外来				合計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
21	11	61	20	20	1	29	15	25	12	90	35	45
20	11	55	14	24	1	33	8	13	12	88	22	37
対前年度比(%)	100.0	110.9	142.9	83.3	100.0	87.9	187.5	192.3	100.0	102.3	159.1	121.6

## エ その他

- (1) 地域連携：退院後の生活場となるグループホーム等の職員と食生活情報の交換を実施している。
- (2) 栄養健康情報の発行：病棟配布献立表に栄養健康情報を掲載し、病棟および外来患者待合室に掲示している。
- (3) 実習生の受け入れ：栄養士養成施設の学生実習を受け入れ、栄養士養成カリキュラムに則り2週間の実習を行っている。その他、看護学生や地域相談室研修生への講義も実施している。

## (9) 保育業務

平成21年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、准看護師の幼児を対象とするとともに、保育時間も7時30分から20時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育（第3を基本）も実施している。

### ア 保育の状況

年 齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属	
6 歳	1	2	3	精神医療センター 0	こども医療センター 3
5 歳	1	2	3	精神医療センター 1	こども医療センター 2
4 歳	2	5	7	精神医療センター 2	こども医療センター 5
3 歳	2	2	4	精神医療センター 2	こども医療センター 2
2 歳	4	3	7	精神医療センター 4	こども医療センター 3
1 歳	2	1	3	精神医療センター 0	こども医療センター 3
計	12	15	27	精神医療センター 9	こども医療センター 18

### イ 主な行事

月	内 容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、病院の作品展参加、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式      プールは～8/31まで毎日実施	〃
9	始園式、クッキング、夕涼み会、梨狩り遠足	〃
10	合同運動会、ハロウィンパーティー	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、焼き芋、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	お別れ会カレーパーティー、お店屋さんごっこ	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式	〃



### Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

# 1 せりがや病院基本方針

- 1 依存症の専門病院として、最新の知識を生かし、質の高い医療を提供するとともに、啓発活動に努めます。
- 2 患者様の人権に配慮し、インフォームド・コンセントを重視します。
- 3 職員間の連携を図り、チーム医療に努めます。
- 4 ご家族や関連諸機関と連携し、患者様の社会復帰を目指します。
- 5 県立病院として健全な経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 病院事業会計決算状況

#### ア 収益的収入及び支出

平成21年度の収益的収入及び支出は、前年度に比較し、収益で4.7%の減少、費用で4.8%の減少となっている。

科 目	平成21年度		平成20年度		対前年度比 (%)	備 考
	金額 (千円)	収益比 (%)	金額 (千円)	収益比 (%)		
病院事業収益	892,323	100.0	936,878	100.0	95.2	
医業収益	432,157	48.4	432,233	46.1	100.0	
入院収益	306,078	34.3	305,080	32.6	100.3	
外来収益	123,150	13.8	124,150	13.2	99.2	
その他	2,929	3.3	3,003	0.3	97.5	
医業外収益	460,166	51.6	504,645	53.9	91.2	
受取り利息及び配当	558	0.1	626	0.1	89.1	
補助金	0	—	0	—	—	
他会計負担金	454,853	51.0	500,105	53.4	90.1	
患者外給食収益	3,211	0.4	3,672	0.4	87.4	
その他医業外収益	1,544	0.2	242	0.0	638.0	
特別収益	0	—	0	—	—	
その他特別収益	0	—	0	—	—	
病院事業費用	917,482	100.0	964,475	100.0	95.1	
医業費用	860,688	93.8	908,479	94.2	94.7	
給与費	630,824	68.8	666,957	69.1	94.6	
材料費	79,268	8.6	83,598	8.7	94.8	
経費	117,462	12.8	127,425	13.2	92.2	
統括管理費	717	0.1	708	0.1	101.3	
減価償却費	28,337	3.1	28,498	3.0	99.4	
資産減耗費	3,270	0.3	232	0.0	1,409.5	
研究研修費	810	0.1	1,061	0.1	76.3	
医業外費用	22,988	2.5	55,996	5.8	41.1	
支払利息及び病院債取扱諸費	9,209	1.0	40,760	4.2	22.6	
患者外給食材料費	3,222	0.4	3,799	0.4	84.8	
繰延勘定償却費	103	0.0	98	0.0	105.1	
雑損失	10,454	1.1	11,339	1.2	92.2	
特別損失	33,806	3.7	0	—	—	
損 益	▲ 25,159	—	▲ 27,597	—	91.2	

#### イ 資本的支出

平成21年度の建築改良費は、前年度に比較し、220%と増加している。主なものとして、資産購入の備品購入費として、4,419千円となっている。

科 目	平成21年度 (千円)	平成20年度 (千円)	対前年度比 (%)	備 考
資本的支出	82,811	623,284	13.3	
建設改良費	6,719	3,051	220.2	
病院建築費	2,310	0	—	
工事請負費	2,310	0	—	
資産購入費	4,419	3,051	144.8	
備品購入費	4,419	3,051	144.8	
その他資産購入費	0	0	—	
総係費	0	0	—	
病院債償還金	76,082	620,233	12.3	

### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成21年度	平成20年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	80	80	100.0	
取扱患者数		人	33,543	33,931	98.9	
入院患者		人	20,081	20,650	97.2	
外来患者		人	13,462	13,281	101.4	
1日平均取扱患者数		人	110.6	102.1	108.3	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	55.0	56.6	97.2	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	55.6	45.5	122.2	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	68.8	70.7	97.3	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	59.0	64.1	92.0	
入院外来患者比率	取扱外来患者数/取扱入院患者数×100-100	%	67.0	64.3	104.2	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	18.4	23.2	79.3	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	2.5	2.4	104.1	
職員数		人	57	57	100.0	期末人数
医師		人	5	4	125.0	期末人数
看護師		人	37	38	97.3	期末人数
その他職員		人	15	15	100.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	71.2	71.2	100.0	
医師	職員数/病床数×100	人	6.2	5.0	124.0	
看護師	職員数/病床数×100	人	46.2	47.5	97.2	
その他職員	職員数/病床数×100	人	18.8	18.8	100.0	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	12,883	12,671	101.6	
入院患者	入院収益/入院患者数	円	15,242	14,774	103.1	
外来患者	外来収益/外来患者数	円	9,148	9,350	97.8	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	236,798	296,051	79.9	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	32,000	31,163	102.6	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	25,659	26,774	95.8	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	1,751	1,855	94.3	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	863	841	102.6	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	199.1	210.2	94.7	
給与費	給与費/医業収益×100	%	146.0	154.3	94.6	
材料費	材料費/医業収益×100	%	18.3	19.3	94.8	
経費	経費/医業収益×100	%	27.2	29.5	92.2	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日(平成21・20年度共)を乗じ算出した

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

延患者数は181人の増で対前年度比1.3%の増となっている。そのうち、再来は、161人の増で対前年度比1.3%の増、新患は20人の増で対前年度比2.6%増となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが57.9%で最も大きな割合を占め、年齢別では40～49歳の構成比が27.5%と最も多くなっている。また、外来患者の受診経路は医療機関からの経路が最も多く、全体の34.1%を占めている。

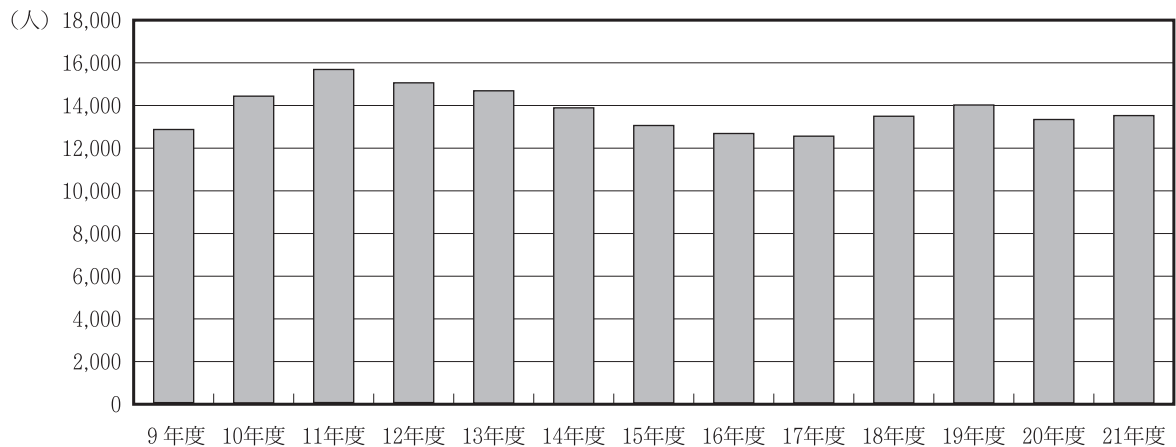
#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
21	新患	67	67	81	79	59	61	64	55	62	59	56	66	776
	再来	983	916	1,009	1,104	1,018	1,066	1,097	1,061	1,044	1,118	1,042	1,228	12,686
	延患者数	1,050	983	1,090	1,183	1,077	1,127	1,161	1,116	1,106	1,177	1,098	1,294	13,462
	一日平均	50.0	54.6	49.5	53.8	51.3	59.3	55.3	58.7	58.2	61.9	57.8	58.8	55.6
20	新患	59	62	78	70	63	52	73	59	49	54	72	65	756
	再来	1,111	1,054	1,028	1,148	1,028	1,032	1,080	962	1,023	960	990	1,109	12,525
	延患者数	1,170	1,116	1,106	1,218	1,091	1,084	1,153	1,021	1,072	1,014	1,062	1,174	13,281
	一日平均	46.8	46.5	44.2	46.8	42.0	45.2	44.3	44.4	48.7	44.1	46.2	47.0	45.5

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

(注) 平成21年4月から、土曜日は休診となる

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	依存薬物等 区分 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻薬	大麻	その他 薬物	その他 精神障害	計
		21	男	341	10	114	5	6	
	女	95	2	41	0	3	32	18	191
	計	436	12	155	5	9	84	51	752
	構成比	57.9	1.6	20.6	0.7	1.2	11.2	6.8	100.0
年度	依存薬物等 区分 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻薬	大麻	その他 薬物	その他 精神障害	計
		20	男	344	8	96	3	14	
	女	114	3	36	0	1	33	15	202
	計	458	11	132	3	15	79	35	733
	構成比	62.5	1.5	18.0	0.4	2.0	10.8	4.8	100.0

エ 年齢別新外来患者数

年度	年齢 区分	年齢							計
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
21	男	2	53	137	160	91	76	42	561
	女	9	38	50	48	30	10	6	191
	計	11	91	187	208	121	86	48	752
	構成比	1.5	12.1	24.9	27.5	16.1	11.5	6.4	100.0
20	男	3	55	102	164	95	75	37	531
	女	5	28	76	51	26	9	7	202
	計	8	83	178	215	121	84	44	733
	構成比	1.1	11.3	24.3	29.3	16.5	11.5	6.0	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地域	年度	年度		居住地域	年度	年度		居住地域	年度	年度	
		21	20			21	20			21	20
横 濱 市	鶴見区	45	55	横 須 賀 市	47	39	足 柄 上 郡	中 井 町	0	0	
	神奈川区	44	52	平 塚 市	31	31		大 井 町	0	3	
	西 区	39	34	鎌 倉 市	32	24		松 田 町	2	2	
	中 区	107	107	藤 沢 市	55	59		山 北 町	0	1	
	南 区	165	163	小 田 原 市	17	20		開 成 町	0	0	
	港南区	113	113	茅 ヶ 崎 市	37	38		足 柄 下 郡	箱 根 町	1	1
	保土ヶ谷区	57	70	逗 子 市	3	10			真 鶴 町	0	0
	旭 区	62	76	相 模 原 市	44	32			湯 河 原 町	1	1
	磯子区	65	53	三 浦 市	2	2			県 内 計	1,562	1,630
	金沢区	43	44	秦 野 市	8	13		東 京 都	59	65	
	港北区	53	54	厚 木 市	17	13	埼 玉 県	6	3		
	緑 区	23	31	大 和 市	21	26	千 葉 県	6	8		
	戸塚区	106	111	伊 勢 原 市	6	9	群 馬 県	0	0		
	瀬谷区	30	30	海 老 名 市	16	12	栃 木 県	1	2		
	栄 区	26	32	座 間 市	16	11	山 梨 県	1	2		
	泉 区	48	45	南 足 柄 市	0	1	静 岡 県	6	5		
	青葉区	16	17	綾 瀬 市	7	4	茨 城 県	0	1		
	都筑区	19	19	三 浦 郡 葉 山 町	2	2	そ の 他 の 県	9	11		
	川 崎 市	川 崎 区	35	45	高 座 郡 寒 川 町	5	8	県 外 計	88	97	
		幸 区	22	21	愛 甲 郡	3	1	住 所 不 明	0	0	
中原区		17	17	愛 川 町	3	1	計	1,650	1,727		
高津区		19	31	清 川 村	0	0					
宮前区		7	17	中 郡	8	4					
多摩区		15	20	大 磯 町	5	3					
麻生区		5	6	二 宮 町	3	1					

(注1) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
21	退院者、通院歴あり	124	7	67	2	3	28	10	241	32.1
	医 療 機 関 (精 神 科)	93	2	16	1	3	21	11	147	15.1
	医 療 機 関 (その他診療科)	90		10			5	3	108	19.0
	保 健 所	10	1	2		1	1		15	2.0
	福 祉 事 務 所	30		16	1		5	3	55	7.4
	断 酒 会 A - A	5		4	1		4		14	1.9
	職 場 関 係 者	6					1	24	31	4.1
	友 人 ・ 知 人	19	1	9			4		33	4.0
	警 察	1		6			2		9	1.2
	そ の 他	58	1	25		2	13		99	13.2
	計	436	12	155	5	9	84	51	752	100.0
20	退院者、通院歴あり	120	7	51	1	4	21	5	209	28.5
	医 療 機 関 (精 神 科)	103		29		5	24	6	167	22.8
	医 療 機 関 (その他診療科)	97		3		2	14	1	117	16.0
	保 健 所	21		7		2	1	1	32	4.4
	福 祉 事 務 所	24		10			3	1	38	5.2
	断 酒 会 A - A	11	1	3			3		18	2.5
	職 場 関 係 者	5						17	22	3.0
	友 人 ・ 知 人	27		12	1	2	2	1	45	6.1
	警 察	1		3			1		5	0.6
	そ の 他	49	3	14	1		10	3	80	10.9
	計	458	11	132	3	15	79	35	733	100.0

## (2) 入退院患者の状況

延患者数は対前年度比2.8%、569人減少している。病床利用率は、対前年度比1.9ポイント減となった。

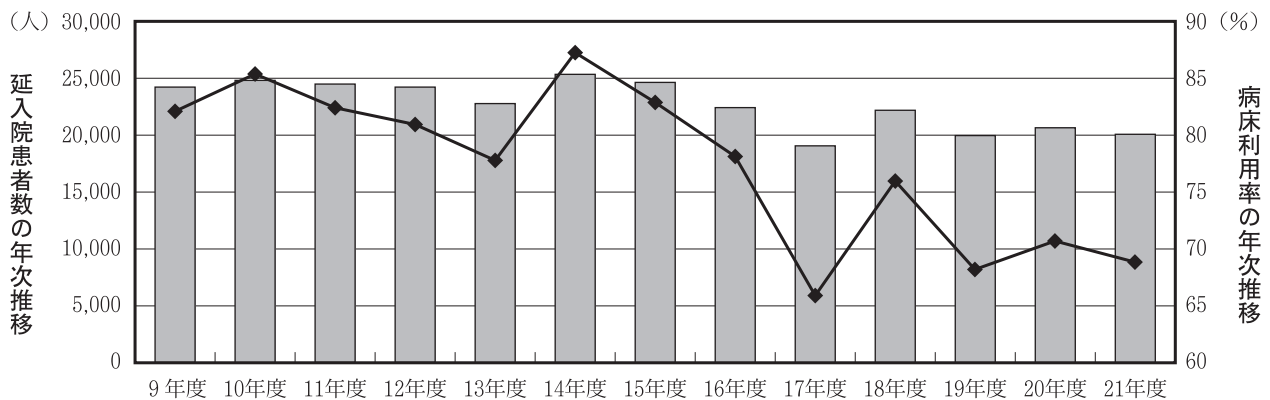
新入院患者は、対前年度比8.0%、28人増加している。新入院患者の病類別の構成比はアルコール依存症の割合が最も多く73.0%を占め、次いで覚せい剤中毒の11.3%となっている。入院形態は任意入院が全体の91.6%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、63.9%を占めている。

### ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
21	入院	30	20	27	32	28	23	31	44	16	32	29	34	346
	退院	26	19	27	35	25	32	32	32	35	20	24	28	335
	延患者数	1,868	1,819	1,663	1,860	1,741	1,638	1,534	1,603	1,558	1,509	1,653	1,817	20,081
	病床利用率	70.3	73.3	69.3	75.0	70.2	68.3	61.9	66.8	62.8	60.8	73.8	73.8	68.8
20	入院	20	29	23	34	25	34	26	24	24	20	31	28	318
	退院	22	24	27	34	32	32	28	23	24	20	31	29	326
	延患者数	1,717	1,911	1,927	1,973	1,726	1,561	1,655	1,600	1,716	1,633	1,537	1,694	20,650
	病床利用率	71.5	77.1	80.3	79.6	69.6	65.0	66.7	66.7	69.2	65.8	68.6	68.8	70.7

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



### ウ 依存薬物別入院患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬	その 他 精神障害	計
		21	男	203	2	26	2		
	女	50		13		1	20		84
	計	253	2	39	2	1	46	3	346
	構 成 比	73.0	0.6	11.3	0.6	0.3	13.3	0.9	100.0
20	男	197	3	21		9	13	2	245
	女	53	1	9			10		73
	計	250	4	30		9	23	2	318
	構 成 比	78.6	1.3	9.5		2.8	7.2	0.6	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

エ 依存薬物別・年齢別入院患者数

年度	年齢	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 比	
		区分	区分										
21	19歳以下	男										0.0	
		女											
		小 計											
	20～29歳	男		7			1			6		14	8.1
		女		5			4		1	4		14	
		小 計		12			5		1	10		28	
	30～39歳	男		24	2		13	1		11		51	20.5
		女		9			5			6		20	
		小 計		33	2		18	1		17		71	
	40～49歳	男		62			8	1		6		77	29.5
		女		17			3			5		25	
		小 計		79			11	1		11		102	
	50～59歳	男		59			3			3	2	67	24.3
		女		12						5		17	
		小 計		71			3			8	2	84	
	60～69歳	男		37			1				1	39	13.0
		女		5			1					6	
		小 計		42			2				1	45	
	70歳以上	男		14								14	4.6
女			2								2		
小 計			16								16		
計	男		203	2		26	2	0	26	3	262	100.0	
	女		50	0		13	0	1	20	0	84		
	計		253	2		39	2	1	46	3	346		
	構成比		73.5	3.2		8.7	0.0	0.3	13.4	0.9	100.0		
20	19歳以下	男							1		1	0.9	
		女			1	1					2		
		小 計			1	1				1			3
	20～29歳	男		2			2		5	2		11	6.6
		女		5			3			2		10	
		小 計		7			5		5	4		21	
	30～39歳	男		14			8		4	4	1	31	17.9
		女		18			4			4		26	
		小 計		32			12		4	8	1	57	
	40～49歳	男		52	2		9			2	1	66	25.2
		女		13			1					14	
		小 計		65	2		10			2	1	80	
	50～59歳	男		59	1		2			3		65	24.5
		女		10						3		13	
		小 計		69	1		2			6		78	
	60～69歳	男		46						1		47	16.4
		女		4						1		5	
		小 計		50						2		52	
	70歳以上	男		24								24	8.5
		女		3								3	
小 計			27								27		
計	男		197	3		22		9	13	2	245	100.0	
	女		53	1		9			10		73		
	計		250	4		30		9	23	2	318		
	構成比		78.6	1.3		9.5		2.8	7.2	0.6	100.0		

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数



オ 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	21	20		21	20		21	20		
横浜市	241	222	横須賀市	8	7	足柄上郡	1	2		
	鶴見区	12	17	平塚市	7		5	中井町	0	0
	神奈川区	10	12	鎌倉市	12		8	大井町	0	1
	西区	14	11	藤沢市	21		16	松田町	1	1
	中区	31	25	小田原市	3		7	山北町	0	0
	南区	38	31	茅ヶ崎市	6		7	開成町	0	0
	港南区	25	24	逗子市	0	1	足柄下郡	0	0	
	保土ヶ谷区	8	8	相模原市	9	9		箱根町	0	0
	旭区	8	15	三浦市	1	0		真鶴町	0	0
	磯子区	14	10	秦野市	0	3		湯河原町	0	0
	金沢区	11	6	厚木市	2	0	県内計	364	346	
	港北区	17	11	大和市	7	5	東京都	22	24	
	緑区	4	7	伊勢原市	1	1	埼玉県	2	0	
	戸塚区	17	16	海老名市	5	1	千葉県	2	0	
	瀬谷区	5	4	座間市	2	1	群馬県	0	0	
	栄区	6	5	南足柄市	0	0	栃木県	0	1	
	泉区	10	10	綾瀬市	2	3	山梨県	0	0	
	青葉区	5	8	三浦郡葉山町	0	1	静岡県	1	1	
都筑区	6	2	高座郡寒川町	3	3	茨城県	0	0		
川崎市	30	42	愛甲郡	0	0	その他の県	7	6		
	川崎区	7	11	愛川町	0	0	県外計	34	32	
	幸区	4	6		清川村	0	0	住所不明	0	0
	中原区	5	4	中郡	3	2	計	398	378	
	高津区	2	6	大磯町	2	1				
	宮前区	3	3		二宮町	1	1			
	多摩区	6	9							
麻生区	3	3								

カ 入院費負担区分別患者数（平成22年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活保護法	精神保健 福祉法	麻薬取締法	自費	計
		本人	家族						
21	男	9	2	23	17				51
	女	1	2	4	5				12
	計	10	4	27	22				63
	構成比	15.9	6.3	42.9	34.9				100.0
20	男	7	1	15	19				42
	女	1	3	4	2				10
	計	8	4	19	21				52
	構成比	15.4	7.7	36.5	40.4				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	区分												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
21	任意	男	25	16	17	22	18	17	19	35	10	22	18	26	245
		女	3	4	7	7	3	4	10	7	5	8	7	7	72
		小計	28	20	24	29	21	21	29	42	15	30	25	33	317
		構成比	93.3	100.0	88.9	90.6	75.0	91.3	93.5	95.5	93.8	93.8	86.2	97.1	91.6
	医療保護	男	2		2	1	3	1	1	2		2	3		17
		女			1	2	4	1	1		1		1	1	12
		小計	2		3	3	7	2	2	2	1	2	4	1	29
		構成比	6.7		11.1	9.4	25.0	8.7	6.5	4.5	6.3	6.3	13.8	2.9	8.4
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	計	男	27	16	19	23	21	18	20	37	10	24	21	26	262
		女	3	4	8	9	7	5	11	7	6	8	8	8	84
		小計	30	20	27	32	28	23	31	44	16	32	29	34	346
	20	任意	男	14	24	15	27	20	23	20	15	22	11	23	19
女			4	5	7	7	4	9	5	7	2	8	5	6	69
小計			18	29	22	34	24	32	25	22	24	19	28	25	302
構成比			90.0	100.0	95.7	100.0	96.0	94.1	96.2	91.7	100.0	95.0	90.3	89.3	95.0
医療保護		男	2		1		1	2	1	2		1	2	1	13
		女											1	2	3
		小計	2		1		1	2	1	2		1	3	3	16
		構成比	10.0		4.3		4.0	5.9	3.8	8.3		5.0	9.7	10.7	5.0
措置		男													
		女													
		小計													
		構成比													
計		男	16	24	16	27	21	25	21	17	22	12	25	20	246
		女	4	5	7	7	4	9	5	7	2	8	6	8	72
		小計	20	29	23	34	25	34	26	24	24	20	31	28	318

ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	期間	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計
		区分									
21	9日以下	男		17	1	6	2		5		31
		女		13		1			2		16
		小 計		30	1	7	2		7		47
	10～19日	男		10	1	6			5		22
		女		2		1			3		6
		小 計		12	1	7			8		28
	20～29日	男		9		3			5	1	18
		女		3		4		1	4		12
		小 計		12		7		1	9	1	30
	30～59日	男		42	1	6			10	1	60
		女		15		4			8		27
		小 計		57	1	10			18	1	87
	60～89日	男		44							44
		女		9		1					10
		小 計		53		1					54
	90日以上	男		72				1	4		77
女			12							12	
小 計			84				1	4		89	
計	男		194	3	21	2	1	29	2	252	
	女		54		11		1	17		83	
	小 計		248	3	32	2	2	46	2	335	
	構成比		74.0	0.9	11.9	0.6	0.6	11.3	0.6	100.0	
20	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計	
	年度	期間	区分								
20	9日以下	男		20		1			3	1	25
		女		5	1	1			1		8
		小 計		25	1	2			4	1	33
	10～19日	男		20		4		1	1	2	28
		女		3							3
		小 計		23		4		1	1	2	31
	20～29日	男		7		4			1		12
		女		2		3			3		8
		小 計		9		7			4		20
	30～59日	男		35	2	14		6	6		63
		女		9		5			3		17
		小 計		44	2	19		6	9		80
	60～89日	男		38		2					41
		女		10		1			2		13
		小 計		48		3			2	1	54
	90日以上	男		86					1		87
女			20					1		21	
小 計			106					2		108	
計	男		206	2	25		7	12	4	256	
	女		49	1	10			10		70	
	小 計		255	3	35		7	22	4	326	
	構成比		78.2	0.9	10.7		2.2	6.8	1.2	100.0	

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
		区分										
21	全 快	男										0.0
		女										
		小 計										
	軽 快	男		131	1	13	2	1	18	1	167	63.9
		女		32		5		1	11		49	
		小 計		163	1	18	2	2	29	1	216	
	未 治	男		54	2	7			8		71	30.4
		女		19		6			5		30	
		小 計		73	2	13			13		101	
	転 医	男		9		1			3	1	14	5.7
		女		3					1		4	
		小 計		12		1			4	1	18	
	死 亡	男										0.0
		女										
		小 計										
	計	男		194	3	21	2	1	29	2	252	100.0
女			54	0	11	0	1	17	0	83		
小 計			248	3	32	2	2	46	2	335		
構成比			74.0	0.9	9.6	0.6	0.6	13.7	0.6	100.0		
年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
		区分										
20	全 快	男										0.0
		女										
		小 計										
	軽 快	男		119	2	17		5	8	4	155	61.4
		女		29		7			9		45	
		小 計		148	2	24		5	17	4	200	
	未 治	男		62		5		2	4		73	29.1
		女		17	1	3			1		22	
		小 計		79	1	8		2	5		95	
	転 医	男		25		3					28	9.5
		女		3							3	
		小 計		28							31	
	死 亡	男										0.0
		女										
		小 計										
	計	男		206	2	25		7	12	4	256	100.0
女			49	1	10			10		70		
小 計			255	3	35		7	22	4	326		
構成比			78.2	0.9	10.7		2.1	6.7	1.2	100.0		

## 5 業務の状況

### (1) 看護

「精神医療センターの基本理念・せりがや病院の基本方針に沿って、質の高い看護を行い、ヒューマンサービスの推進に貢献する」という理念に則って、看護を行っている。

看護局は、外来看護科、1階病棟看護科、2階病棟看護科、教育科の4単位であり、1階病棟は男性の初期入院（30床）、2階病棟は男性の回復期（35床）および女性の初期から回復期（15床）で構成されている。

#### ア 病棟看護

1階病棟では、入院初期の男性患者に2週間程度、依存物質からの離脱、体力の回復、今後の治療の意志を固め、スムーズに2階病棟に継続できるよう援助している。2階病棟では、男性患者には中断することなく治療プログラムに取り組めるよう援助し、女性患者には、初期から回復期に至る全過程の援助を行っている。

近年、依存物質が多様化し、ギャンブル、異性、過激な運動への依存、摂食障害も見られ、それらは物質依存と合併している場合が多く、治療が難しくなっている。さらに、高齢化に伴うADLの低下がある患者や糖尿病、肝硬変、高血圧、低栄養状態などの身体合併のある患者が増えてきている。看護師は、治療効果が向上するよう他職種と連携を図りながら、患者の状態に応じて、認知行動療法、日常生活訓練（SST）や多様な治療プログラム実施をしている。

#### 病棟別看護職員配置図

（平成22年4月1日現在）

病棟	定床数	保護室	現員	備考
1階	30	4	15+4	初期入院（男性）病棟
2階	50	2	17	回復期（男性）病棟、女性病棟

#### イ 外来看護

近年、外来での医療のニーズがますます高まってきている。外来では、患者の状況に応じた看護が提供できるように、初診時からの看護計画を立て看護の継続に努めている。患者の状況を観察、判断し、話を聞くことや相談に乗ることも行なっている。また、他職種との連携を大切にして、看護師以外に医師、心理・相談科、作業療法士などの医療チームで患者をケアできるように月に1回外来運営カンファレンスを行ったり、集団精神療法を医師や心理職の職員とともにこなしたりしている。また、今年度から外来クラークが導入され、毎日定時にベッドコントロールや患者の情報交換を行える時間が確保でき、病棟との連携がさらにできるようになった。

#### 外来看護職員配置図

現員	3+3（非常勤）
----	----------

#### ウ 看護教育科

患者の動向を踏まえ、精神科看護に求められる看護師の育成を行っている。次年度から、精神医療センターとして院内研修を合同で実施する予定である。看護師ひとり一人のキャリアニーズに基づき、院内研修や院外研修への参加を支援している。また、看護学生の実習調整や見学者の対応を行っている。自施設の特徴から、薬物の啓発教育にスタッフを講師として中学校や高校に派遣している。

(ア) 平成21年度 現任教育

	研 修 名	ね ら い	対 象	参加人数
新採 ・ 転 入 者 支 援	採用者研修★ (転入者含)	○概要・組織・業務が理解でき、職員としての自覚をもつことができる	新採用・転入者	7名
	フォローアップ研修	○業務の中で生じた疑問や不安を軽減し、仕事への意欲につなげることができる	新採用・転入者	5名
	施設見学	○地域のネットワークが理解でき、連携の必要性と看護の役割がわかる	新採用・転入者	6名
	救急蘇生法研修★	○看護師として必要な救急時の基礎的対応がわかる	新採用・転入者	2名
	接 遇 研 修	○接遇の実際を通して、専門職業人としての態度を身につける。	全職員	2名
ステップ II	チームリーダー研修	○チームナーシングについて理解を深め、リーダーとしての役割が明確になる	看護科長が必要と求めた看護職員	2名
ステップ III	事 例 検 討	○受け持ち事例を通して自己の看護を振り返り、看護実践に活かすことができる	同上	1名
ステップ IV	プレゼンテーション 研 修	○他者に効果的な情報提供ができるような能力を身につけることができる	同上	1名
役 割 研 修	新 主 任 研 修	○リーダーシップと、主任の役割について理解できる	新主任	1名
	病棟技能員研修	○患者の環境を整備するために、組織の中で効果的な役割を担い、サービスの向上を図る	技能員	2名
	S S T 研 修 ★	○生活技能訓練を習得し、臨床現場に活かすことができる	看護職員	6名
研 修 会 等	講 演 会	○看護の質の向上につなげることができる ○専門性を高め、看護実践に活かすことができる	全職員	院内35名 院外21名
	伝 達 研 修 会	○院外研修の報告を受け、自己研鑽の動機づけとすることができる ○看護活動を通して研究成果を発表し相互の学びとすることができる ○依存症看護の質の向上につなげることができる	看護職員	14名
	静脈注射研修	○医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するための必要な知識・技術を習得する	看護職員	5名

(イ) 平成21年度実習受入れ状況

学 校 ・ 団 体	人 数
神奈川県衛生看護専門学校 第2看護学科	72人
神奈川県衛生看護専門学校 第1看護学科	56人
福岡看護専門学校(通信制)	3人
日本医療学院附属東亜看護学院	3人

(ウ) 平成21年度看護の日記念行事

内 容 (場 所)	対 象	人 数
クラシックコンサート(せりがや病院)	地域の方、患者、家族	55人
看護師による講演会 薬物防止教育キャラバンカーなど(せりがや病院)	中学生、地域の方	34人
せりがや病院で働く人、仕事の紹介(せりがや病院)	地域の方、外来・入院患者、家族	多数

## (エ) 平成21年度施設見学

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横須賀市立池上中学校	3年生	5人
横浜市立芹が谷中学校	2年生	2人
横浜市病院協会看護専門学校	教員	1人
病院見学（インターシップ）	就職希望者	5人
情報科学専門学校	2年生	3人

## (オ) 平成21年度講師派遣

派 遣 場 所	内 容	人 数
県立保健福祉大学 実践教育センター	管理者養成課程	1人
	教員養成課程 介護教員養成コース	
	研究基礎講座	
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	1人
県立衛生看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	1人
県立病院職員研修	専門Ⅰコース	1人
	専門Ⅱコース	1人

## (カ) 平成21年度健康教育啓発活動の講師派遣

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横浜市立本郷中学校	1年生、2年生、3年生	543人
	教職員・保護者	
平塚市立金目中学校	2年生	108人
	教職員	9人
神奈川県教育委員会教育局	小・中学校教職員、小中学校保護者	
相模原市立大野中学校	3年生	312人
	保護者・教員	40人
鎌倉市立岩瀬中学校	2年生	120人
	教職員	

## (2) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

平成21年度はテキストを使用した「SMARPP24」を、薬物外来プログラムとして位置付け、医師、看護師と共同し、外来患者への薬物治療プログラムの充実を図った。また、薬物家族教室では、特別講座を4回実施し参加家族にも好評であった。

地域のアルコール、薬物依存症の自助グループや回復施設との連携では、平成21年度は10名の薬物依存症患者の施設入所を支援した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

- |                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1. 相談（電話、面接）       | 7. 臨床心理検査                             |
| 2. 初診時インテーク面接      | 8. 心理療法                               |
| 3. 入院・外来患者へのケースワーク | 9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室                  |
| 4. 患者家族へのケースワーク    | 10. 依存症者の家族のための家族教室（医局、看護局との分担）       |
| 5. 入院・外来患者への集団精神療法 | 11. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助 |
| 6. 入院患者への教育        | 12. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）             |
|                    | 13. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）                   |

### ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

内 容		21年度	20年度	備 考	
電 話	新 規 相 談	311	375	まだ受診していない者についての相談	
	相 談	694	578	すでに受診している者（患者）についての相談	
	関係機関との連絡調整	3,581	3,580	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整	
	小 計	4,586	4,533		
面 接	新規相談	50	59	まだ受診していない者についての相談	
	患 者	外 来	740	480	外来患者等に対する面接
		入 院	940	1,579	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク	509	473	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する	
小 計		2,239	2,591		
計		6,825	7,124		

### イ 平成21年度集団精神療法件数

外 来	ア ル コ ー ル	1,003	1,009	週1回の外来ミーティングで実施
	薬 物	465	302	月2回の外来ミーティング、SMARPP
	小 計	1,468	1,311	
入院	ア ル コ ー ル ・ 薬 物	4,097	4,120	7グループで実施 入院患者各々週2回参加
計		5,565	5,431	

### ウ 平成21年度家族教室参加人数

家 族 教 室	261	316	アルコール依存症の者の家族 月2回
薬 物 依 存 症 家 族 教 室	369	307	薬物問題を持つ家族 月2回
計	630	623	



## エ 平成21年度 研修等の受入れ

### ア 精神保健福祉援助実習

	学 校	実 施 日	人 数
1	県立保健福祉大学	平成21年 8月24日～9月 8日	3名
2	上智社会福祉専門学校	平成21年 8月24日～9月 8日	1名

### イ その他研修・見学

	機 関	実 施 日	人 数
1	県精神保健福祉センター（転任職員研修）	平成21年 6月10日	4名
2	県精神保健福祉センター（転任職員研修）	平成21年 6月12日	4名
3	昭和女子大学	平成21年 7月14日	1名
4	県薬剤師会学校薬剤師研修	平成21年10月29日	20名
5	県薬物乱用防止指導員横須賀支部研修	平成21年11月 5日	13名
6	横浜保護観察所社会復帰調整官実務実習	平成21年11月18日	1名
7	東北福祉大学通信教育部	平成22年 1月 7日・8日	1名
8	磯子区生活支援センター	平成22年 2月 1日	1名
9	横浜市こころの健康相談センター（転入職員研修）	平成22年 2月23日	7名
10	茨城県立友部病院	平成22年 3月 9日	2名

### ウ 講師派遣

	機 関	実 施 日	参 加 人 数
1	鎌倉地区薬物乱用防止指導員・保護司研修	平成21年 6月29日	38名
2	横浜市こころの健康相談センター家族教室	平成21年 7月14日	5名
3	鎌倉女学院薬物乱用防止教室	平成21年 7月16日	168名
4	戸塚第1、第2地区民生委員・児童委員協議会との連絡会	平成21年 7月27日	40名
5	相模原市立緑ヶ丘中学校薬物乱用防止教室	平成21年11月16日	430名
6	神奈川県立生田東高校飲酒運転防止職員研修	平成21年12月 7日	25名
7	東京都渋谷区立上原中学校薬物乱用防止教室	平成21年12月21日	103名
8	鎌倉市立玉縄中学校薬物防止教室	平成22年 2月25日	167名

## (3) 作業療法

当院作業療法は平成19年7月に開設され、平成20年度までは1名の作業療法士、平成21年度より2名の作業療法士で運営している。

作業療法は、依存症のリハビリテーションとして身体的、心理的、社会的によりよい状態の再獲得が主たる目的である。通常プログラムとして農耕、スポーツ、表現活動を集団で実施しているほか、高齢者プログラム、病院行事なども行っている。また、作業療法以外にも教育プログラム、自助グループへの参加支援など作業療法士が関わっている。

当院入院患者のほぼ全員が作業療法の処方を受けており、実施数や対象患者の層も入院患者の状況により影響を受けている。

平成21年10月より通院作業療法を開始したので、通院後の患者への受け皿として利用価値を高めていきたい。

## ア 病棟別実施件数

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
21	1 階 病 棟	154	68	155	91	120	112	101	99	97	78	108	107	1,290
	2 階 病 棟	365	418	398	463	407	373	390	383	378	361	428	389	4,753
	合同プログラム	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	38	81
	計	519	486	553	554	527	485	534	482	475	439	536	534	6,124
年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
20	1 階 病 棟	96	97	119	113	88	82	64	47	77	94	113	127	1,117
	2 階 病 棟	332	409	396	356	363	243	397	332	273	210	342	313	3,966
	合同プログラム	0	0	0	53	0	0	35	0	0	0	0	43	131
	計	428	506	515	522	451	325	496	379	350	304	455	483	5,214

## イ 通院作業療法実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
21							22	9	12	14	13	17	87

## (4) 医療教育及び講師派遣

### ア 研修の受入れ

対 象	人 数	実 施 日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

### イ 講師派遣

派 遣 先	実 施 日
横浜市立大学医学部	平成21年4月
県立保健福祉大学	平成21年4月、6月
県教育委員会	平成21年4月

## (5) 薬剤業務

平成21年度の薬品購入金額が前年度に比べ約429万円減になり、診療行為給付実績の投薬・注射について一人単価は、前年度に比べ271円減となった。また、処方せん枚数は、前年度に比べ外来は47枚の増、入院が341枚減で、入院と外来合わせて前年度より294枚減であった。21年度は患者数および薬品費が前年度より減少した。

薬剤情報提供は前年度に比べ400件増え1,416件であった。

薬事会議は9月と3月に開催し、新たに15品目を採用し、15品目を削除した。後発医薬品については3品目を先発品から切り替え、計71品目となり採用率は12.6%となった。

### A 調剤数

区 分	処 方 せ ん	剤 数	延 べ 剤 数	一 日 平 均	
				剤 数	延 べ 剤 数
入 院	7,038 枚	18,534 剤	104,755 剤	50.6 剤	286.2 剤
外 来	11,772	38,811	614,593	132.0	2,090.5
計	18,810	57,345	719,348	182.6	2,376.7

### B 注射剤払い出し

注 射 せ ん	500 m l 未 満	500 m l 以 上	計
259 枚	515 本	230 本	745 本

### C 製剤数

内 用 散 剤	軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
194,811 g	1,337 g	1,450 錠

### D 剤型別購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	39 品	8.9 %	1,288,293 円	2.2 %
内 服	351	80.4	56,492,023	96.2
外 用	43	9.8	857,375	1.5
消 毒	4	0.9	22,970	0.1
計	437	100.0	58,660,661	100.0

### E 薬効別購入額

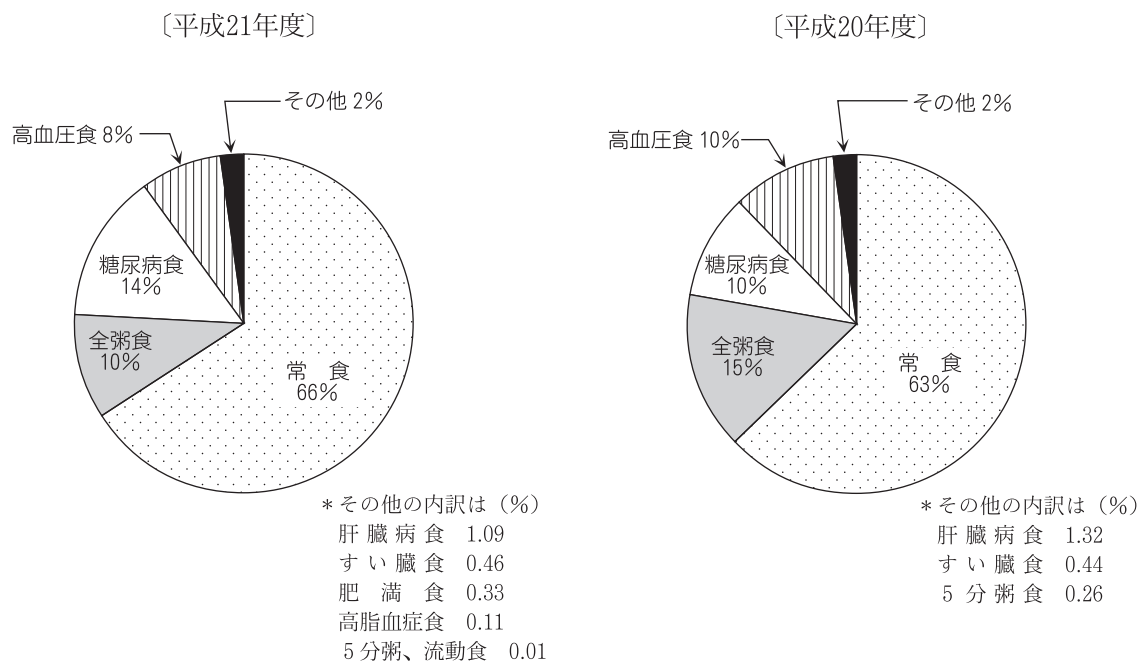
薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	129 品	29.5 %	31,231,078 円	53.2 %
睡 眠 鎮 静 剤、抗 不 安 剤	48	11.0	9,279,752	15.8
習 慣 性 中 毒 用 剤	2	0.5	1,842,050	3.1
ビ タ ミ ン 剤	16	3.7	2,812,372	4.8
肝 臓 疾 患 用 剤	5	1.1	93,060	0.2
そ の 他	237	54.2	13,402,349	22.9
計	437	100.0	58,660,661	100.0

## (6) 栄養業務

### ア 給食実施状況

入院患者の食種では一般食の比率が低下し、特別食の比率がやや増加している。特別食では糖尿病食と高血圧食の割合が高いが、特に糖尿病食は前年度比141%と大幅に増加した。これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導の重要性がある。また、肝臓病食については肝不全によるBCAA製剤を使用するための低タンパク食の指示が多く患者の重症化がすすんでいる事がうかがえる。また、近年の特徴として高齢者等の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整」など入院患者個人に適應した、きめこまかい食事指示が増加していることがあげられる。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた形態（キザミ食等）や食器（メラミンやディスポ食器の使用）、食事時間（分割食、朝食）への対応、嗜好への対応、作業所参加や治療プログラムのための弁当の調整などきめ細かな個人対応食を実施している。さらに、依存症専門病院として食材や調味料等についても配慮しており、調理技術の高度化と専門性が要求されている。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節感を取り入れた行事食を年7回実施、選択食を80回実施した。栄養指導では、入院患者に対する生活支援の一環として「教育プログラム」に位置づけられ、定例的に自立に向けた集団指導を行っている。



区 分		年 度		21年度	20年度	対前年度比 (%)	
一 般 食	常 食			36,095	34,601	104.3	
	軟 流 動 食	全 粥 食			5,447	8,301	65.6
		七 分 粥 食			0	0	—
		五 分 粥 食			2	142	1.4
		三 分 粥 食			0	32	—
		ミ キ サ ー 食			0	0	—
		流 動 食			4	25	16.0
		小 計			5,453	8,500	64.2
計			41,548	43,101	96.4		
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食			7,916	5,616	141.0
		高 脂 血 症 食			63	0	—
		肝 臓 病 食			606	713	85.0
		膵 臓 病 食			256	240	106.7
		腎 臓 病 食			0	5	—
		潰 瘍 食			0	0	—
		通 風			0	0	—
	小 計			8,841	6,574	134.5	
	な 加 算 も で き の き	高 血 圧 食			4,560	5,471	83.3
		肥 満 食			185	0	—
		アルゲン除去食			0	0	—
		小 計			4,745	5,471	86.7
	計			13,586	12,045	112.8	
	合 計				55,134	55,146	100.0
患 者 食 弁 当				(622)	(312)	199.4	
検 食 ・ 保 存 食				2,190	2,190	100.0	
職 員				10,552	(37) 12,048	87.6	
総 合 計				67,876	69,384	97.8	

\*患者食弁当( )は再掲

\*職員( )は実習生

## イ 栄養指導実施状況

区 分 年 度	入 院				外 来				合 計			
	集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
21	3	122	3	3	0	0	24	24	3	122	24	24
20	4	184	1	1	0	0	23	23	4	184	24	24
対前年度 比 (%)	75.0	66.3	300.0	300.0	—	—	104.3	104.3	75.0	66.3	100.0	100.0

平成21年度 **業 務 年 報**

---

平成22年10月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷 2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 中川印刷株式会社

横浜市中区山田町 7-1

TEL 045-261-2101

---



地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)825-3852